



# Cisco Prime Network Registrar 11.1 REST API クイックスタートガイド

初版：2022年7月13日

Cisco Prime Network Registrar REST API は、HTTP クライアントで管理できる一連のリソースへのアクセスを提供します。Web サービスが有効になっている場合、地域サーバーとローカル DHCP、DNS、およびキャッシュ DNS サーバーでサポートされます。

このドキュメントは、Cisco Prime Network Registrar で REST API の使用を開始するのに役立ちます。Cisco Prime Network Registrar で最も一般的に使用されるオブジェクトに関する情報を取得するために用いられる REST メソッドとエンドポイントについて説明します。また、製品でサポートされている特殊な操作についても説明します。

11.1 以降、Cisco Prime Network Registrar は、ほとんどのシナリオをカバーする REST API の Swagger ベースのドキュメントをサポートしています。ただし、すべての REST API 要求、特にアクション (CCMHost、CCMRRSet、Lease、Lease6 などの子オブジェクトの取得など) の特殊なケースをカバーしているわけではありません。特別な API とアクションについては、このドキュメントと『Cisco Prime Network Registrar 11.1 REST APIs Reference Guide』を参照する必要があります。

## 目次

概要	4
標準関数	4
オブジェクトの追加	4
名前によるオブジェクトの変更/追加	5
オブジェクトリストの変更/追加	6
オブジェクトを名前で取得	6
オブジェクトリストの取得	7
名前によるオブジェクトの削除	8
オブジェクトリストの削除	8
子リスト関数	9
Cisco Prime Network Registrar で一般的に使用されるクラス	10
スコープ	10
プレフィックス	14
CCMScopeTemplate	16
PrefixTemplate	18
リンク	21
LinkTemplate	23
ポリシー	26
OptionDefinitionSet	30
CCMZone	33
CCMReverseZone	37
CCMRRSet	41
CCMHost	47
CCMSecundaryZone	51
CCMZoneTemplate	54
DnsView	57
DnsForwarder	60
DnsException	63
CdnsRedirect	67
CCMCluster	70
CCMFailoverPair	74
CCMHaDnsPair	76
CCMZoneDistribution	79
特殊な関数	81

## 概要

reloadServer (リロード) .....	82
runSync (同期) .....	82
クラスタの同期.....	84
pushToLocal (プッシュ) .....	84
applyTemplate .....	85
getLocalServer .....	86
高度な API .....	88
リースアクション .....	88
getNextAddress .....	88
Lease の変更 .....	91
releaseAddress .....	91
サーバーの統計情報 .....	92
DHCP Server .....	93
DHCP Related Server .....	94
DNS Server .....	96
CCM Server .....	97
DNS Caching Server.....	98
サンプル統計 .....	100
DHCP Server .....	100
DNS Server .....	101
DNS Caching Server.....	102
サーバーシステム統計.....	102
使用率データ .....	103
Current Utilization.....	103
Current Prefix Utilization .....	104
DHCP スコープステータス.....	106
DNS Ha Status .....	107
Dns Zone Status .....	109
DHCP フェールオーバーステータス .....	110
リソース制限の通知 .....	111
Swagger のドキュメント .....	113
REST 要求で使用する特殊文字.....	113
ステータスコード .....	114
製品に関する資料.....	115
マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート .....	115

## 概要

REST は、次の原則に準拠したアーキテクチャスタイルです。

- クライアント サーバ
- ステートレス
- キャッシュ可能
- 統一されたインターフェイス

どの API でもこれらの原則に従うことができますが、REST API の業界定義は、HTTP クライアント要求とサーバー応答を使用して構築されたものです。要求と応答のコンテンツは、HTTP メディアタイプによって定義されます。JSON や XML は、一般的にサポートされているコンテンツタイプです。TEXT は、非常に単純なデータ応答にも使用されます。

クライアント要求は、要求されたリソースを識別する URL によって形成されます。HTTP プリミティブの GET、PUT、POST、および DELETE は、基本的な読み取り、追加、変更、および削除操作に使用されます。要求パラメータは、要求をさらに修飾するために使用されます。

構成管理の場合、リソースを `datadict` クラス名と同一視します。たとえば、次の URL を使用して、デフォルトの VPN でスコープリストとスコープ「test」を名前でも要求します。

```
https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope
https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope/test
```

別の VPN のスコープリストを要求するには、GET 要求に VPN を指定するパラメータを含めます。

```
https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope?vpnId=10
```

このドキュメントの curl の例では、必要な引数がすべて示されているとは限りません（たとえば、ユーザー名/パスワードを指定する `-u` など）。

## 標準関数

REST API は、サービス定義内のすべての永続化（非一時的）クラスに対する一連の標準要求を処理します。これらは、各クラスで許可されている取得、追加、変更、または削除操作をサポートします。たとえば、読み取り専用クラスは取得操作のみをサポートし、シングルトンクラスはリスト操作をサポートしません。XML または JSON 形式のオブジェクトは、必要に応じて入力または出力パラメータとして指定できます。

## オブジェクトの追加

**POST /web-services/rest/resource/className**

**Accept: application/xml、application/json**

新しいオブジェクトを追加するには、入力オブジェクトを指定するか、必要な属性がすべて定義されていれば、個々のスカラー属性をフォームパラメータとして設定できます。複雑なデータ型を指定するには、入力データをオブジェクト形式で提供する必要があります。

## 標準関数

例：

```
curl -X POST -H Content-type:application/xml --data
"<Scope>
  <name>testScope1</name>
  <subnet>101.10.101.0/24</subnet>
  <rangeList><RangeItem><start>101.10.101.2</start><end>101.10.101.254</end></RangeItem>
</rangeList>
  <selectionTagList><stringItem>red</stringItem><stringItem>green</stringItem>
<stringItem>blue</stringItem></selectionTagList>
</Scope>"
https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope
```

```
curl -v -X POST -HContent-Type:application/x-www-form-urlencoded --data
"name=testscope&subnet=11.0.0.1/24" https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope
```

```
curl -v -H Accept:application/json --cacert cacert.pem -X POST -H Content-Type:application/json --data
@scope_add.json https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope
```

ここで、scope\_add.json は、Scope オブジェクトを追加するために使用されるファイルです。このファイルの内容を以下に示します。

```
{
  "name": "rest_scope_1",
  "policy": "default",
  "rangeList": {
    "RangeItem": [
      {
        "end": "1.0.0.100",
        "start": "1.0.0.1"
      }
    ]
  },
  "subnet": "1.0.0.0/24",
  "tenantId": "0",
  "vpnId": "0"
}
```

## 名前によるオブジェクトの変更/追加

**PUT /web-services/rest/resource/className/objectName**

**Accept: application/xml、application/json**

PUT プリミティブを使用して、新しいオブジェクトを追加したり、既存のオブジェクトを変更したりできます。完全なオブジェクトは常に入力オブジェクトで指定する必要があります。オブジェクトを変更すると、入力オブジェクトで設定解除された属性は、必要でない限り、変更されたオブジェクトで設定解除されます。オブジェクト名は URL で指定され、入力オブジェクトと一致する必要があることに注意してください。

例：

```
curl -X PUT -H Content-type:application/json --data
{"objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:60",
 "name": "TestScope1",
 "policy": "testPolicy",
 "subnet": "101.10.101.0/24"}"
https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope/TestScope1
```

```
curl -v -H Accept:application/json --cacert cacert.pem -X PUT -H Content-Type:application/json --data
@scopemod.json https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope/rest_scope_1
```

ここで、scopemod.json は、Scope オブジェクトを変更/追加するために使用されるファイルです。

## オブジェクトリストの変更/追加

**PUT /web-services/rest/resource/className**

**Accept: application/xml、 application/json**

オブジェクトリストを指定すると、一致するオブジェクトが変更され、残りのオブジェクトが追加されます。完全なオブジェクトは常に入力オブジェクトで指定する必要があります。入力オブジェクトで設定解除された属性は、必要でない限り、変更されたオブジェクトで設定解除されます。

オブジェクトの追加時にエラーが発生した場合（たとえば、必要な属性が欠落している場合）、オブジェクトは追加または変更されません。ただし、変更エラーが発生すると、新しいオブジェクトが作成される場合があります。この場合、クライアントが修正されたデータオブジェクトを含むリスト全体を再送信すると、すべてのオブジェクトが変更エントリとして処理されます。

指定されたリストが構成されたリスト制限（セクション 8 を参照）を超える場合、AX\_E2BIG エラーが返され、変更は行われません。

例：

```
curl -X PUT -H Content-type:application/json --data
  [{"name": "s1",
    "policy": "new2",
    "subnet": "10.1.1.0/24"},
  {"name": "s2",
    "policy": "new2",
    "subnet": "10.1.2.0/24"},
  {"name": "s3",
    "policy": "new2",
    "subnet": "10.1.3.0/24"}]}
https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope
```

```
curl -v -H Accept:application/json --cacert cacert.pem -X PUT -H Content-Type:application/json --data
@scopemod.json https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope
```

ここで、scopemod.json は、Scope オブジェクトの指定されたリストを変更/追加するために使用されるファイルです。

## オブジェクトを名前で取得

**GET /web-services/rest/resource/className/objectName**

**Content-Type: application/xml、 application/json**

要求されたオブジェクトが存在しない場合は、「見つかりません」エラーが返されます。

例：

```
curl -H "Accept:application/json" https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope/s1

{"objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:60",
 "name":"s1",
 "policy":"test2",
 "vpnId":"0",
 "subnet":"10.1.1.0/24",
 "tenantId":"0"}
```

## オブジェクトリストの取得

**GET /web-services/rest/resource/className**

**Content-Type: application/xml、application/json**

リストのフィルタ基準を指定する追加のパラメータを含めることができます。これらは、クラス内の任意の属性の完全一致または正規表現として指定できます。文字列の比較では大文字と小文字が区別されません。

無効な属性名を指定すると、「不正な要求」エラーが発生し、そのクラスに対して属性が無効であることを示すメッセージが表示されます。vpnId または viewId が適用されるクラスの場合、パラメータが省略されると、デフォルト (0) が使用されます。

結果リストは、デフォルトで 20 エントリに制限されます。結果が制限を超えると、戻りセットは切り捨てられ、クライアントが次のデータチャンクを取得できるようにするためのリンクが提供されます。たとえば、localhost:8443/web-services/rest/collection/56a7e561 です。デフォルトの制限は 20 ですが、これは「cnr.rs-list-size」プロパティを使用して構成できます。デフォルトでは、クライアントカーソルは非アクティブ状態が 5 分間続くと破棄されます。タイムアウト値は、「cnr.rs-user-timeout」プロパティを使用して構成できます。接続が閉じられている場合、コレクションが期限切れであることを示す「見つかりません」エラーが返されます。

例：

```
curl -H "Accept:application/json" https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Policy
```

```
[{"objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:00:04",
  "name":"default",
  "offerTimeout":"2m",
  "gracePeriod":"5m",
  "optionList":{"OptionItem":[{"number":"51","value":"00:09:3a:80"}]},
  "tenantId":"0"},
{"objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:00:03",
  "name":"system_default_policy",
  "offerTimeout":"2m",
  "gracePeriod":"5m",
  "optionList":{"OptionItem":[{"number":"51","value":"00:09:3a:80"}]},
  "tenantId":"0"}]
```

```
curl -H "Accept:application/json" https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope?name="s\[0-9\].*"
```

```
[{"objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:01:b4",
  "name":"s1",
  "policy":"test2",
  "vpnId":"0",
  "subnet":"10.1.1.0/24",
  "description":"first test",
  "tenantId":"0"},
{"objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:01:b5",
  "name":"s2",
  "policy":"","",
  "vpnId":"0",
  "subnet":"20.2.2.0/24",
  "description":"my test",
  "tenantId":"0"}]
```

## 名前によるオブジェクトの削除

**DELETE /web-services/rest/resource/className/objectName**

要求されたオブジェクトが存在しない場合は、「見つかりません」エラーが返されます。

例：

```
curl -X DELETE https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope/TestScope1
```

## オブジェクトリストの削除

**DELETE /web-services/rest/resource/className**

**Accept: application/xml, application/json**

**DELETE /web-services/rest/resource/className?nrOidList=OIDs**

オブジェクトのリストを削除するには、ほとんどのクラスで、リスト内の各オブジェクトにオブジェクト OID を指定するだけで済みます。例外は、DnsEnumDomain、DnsEnumEntrySet、および CCMRRSet クラスです。これらのクラスには、オブジェクト名とビュー ID が必要です（該当する場合）。CCMRRSet は子クラスであるため、親ゾーンも必要です。これは、オブジェクトで指定するか、入力パラメータとして指定できます。

指定されたリストが構成されたリスト制限を超えると、AX\_E2BIG エラーが返され、変更は行われません。

例：

```
curl -X DELETE -H Content-type:application/json --data
  [{"objectOid": "OID-00:00:00:00:00:00:00:14"},
  {"objectOid": "OID-00:00:00:00:00:00:00:23"}]
https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Prefix
```

```
curl -v -H Accept:application/json --cacert cacert.pem -X DELETE -H Content-Type:application/json --data
@scope_delete_all.json https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope
```

ここで、scope\_delete\_all.json は、指定された Scope オブジェクトのリストを削除するために使用されるファイルです。

java.net.HttpURLConnection クラスを使用する Java クライアントは、DELETE 要求でコンテンツを指定できないため、Cisco Prime Network Registrar は、オブジェクトリストを指定するための「nrOidList」パラメータもサポートしています。リストは、単一のコンマ区切りのパラメータエントリとして指定することも、複数のパラメータエントリによって指定することもできます。

例：

```
curl -X DELETE https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Prefix?nrOidList=OID-
00:00:00:00:00:00:00:14,OID-00:00:00:00:00:00:00:23

curl -X DELETE https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Prefix?nrOidList=OID-
00:00:00:00:00:00:00:14&nrOidList=OID-00:00:00:00:00:00:00:23
```

OID を使用してオブジェクトを識別できない DnsEnumDomain、DnsEnumEntrySet、および CCMRRSet クラスの場合、これらのクライアントはオブジェクトを名前で個別に削除することしかできません。



## 子リスト関数

オブジェクト関数とリスト関数は、次の subclasses でサポートされています。

子クラス	親クラス	親属性
Lease (読み取り専用)	スコープ	scope-name (ref)
Lease6 (読み取り専用)	プレフィックス	prefix-name (ref)
Reservation	スコープ	scope (ref)
Reservation6	プレフィックス	prefix (name)
CCMRRSet	CCMZone、CCMReverseZone、CCMSecondaryZone	zone (oid ref) 、zone-origin (name ref)
CCMHost	CCMZone	zone (oid ref)

これらのクラスは、同じ標準関数のセットをサポートしますが、異なる使用上の制約の下で機能します。たとえば、親が存在しない場合、新しい子オブジェクトを追加できません。

Lease、Lease6、Reservation、および Reservation6 オブジェクトの場合、親は常にアドレスと vpnId 修飾子（該当する場合）から識別できます。子オブジェクトを識別するために、追加のパラメータは必要ありません。

例：

スコープ 'test' のリースリストを返します。

```
https://localhost:8443/web-services/resource/Lease?scopeName=test
```

リースを取得します。

```
https://localhost:8443/web-services/resource/Lease/10.10.1.1
```

スコープ 'test' の予約リストを返します。

```
https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Reservation?scope=test
```

予約を取得します。

```
https://localhost:8443/web-services/resource/Reservation/10.10.1.1?vpnId=2
```

CCMRRSet オブジェクトの場合、親ゾーンの OID をオブジェクトで指定するか、zoneOrigin 属性を viewId 修飾子と組み合わせて（該当する場合）使用して、親を見つけることができます。ただし、CCMHost オブジェクトの場合、親ゾーンの OID は常に相対ホスト名で指定する必要があります。このリリースでは、zoneOrigin 属性のサポートを追加して、両方で一貫した名前付けオプションを使用できるようにします。これらのクラスでは、親ゾーンが指定されていないか、親ゾーンが見つからない場合にエラーが返されます。

例：

ゾーン「a.tst.」の RR セット「sample」を返します。

```
https://localhost:8443/web-services/resource/CCMRRSet/sample?zoneOrigin=a.tst.
```

ゾーン「a.tst.」のホストリストを返します。

```
https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMHost?zoneOrigin=a.tst.
```

## Cisco Prime Network Registrar で一般的に使用されるクラス

次のセクションでは、Cisco Prime Network Registrar で最も一般的に使用されるクラスと、それらに対して実行できる基本的な操作について説明します。

### スコープ

DHCP スコープオブジェクト。スコープは、構成属性を共有するサブネット上の一連の動的アドレスプールを定義します。スコープには、構成を使用する必要がある指定されたサブネット上の予約済みアドレスを含めることもできます。

#### スコープオブジェクトの作成

Cisco Prime Network Registrar スコープオブジェクトを作成します。

方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "name": "rest_scope_1",   "policy": "default",   "rangeList": {     "RangeItem": [       {         "end": "1.0.0.100",         "start": "1.0.0.1"       }     ]   },   "subnet": "1.0.0.0/24",   "tenantId": "0",   "vpnId": "0" }</pre>

#### スコープオブジェクトリストの取得

Cisco Prime Network Registrar スコープオブジェクトのリストを取得します。

方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope
ヘッダー :	Accept:application/json

応答本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:5b",     "name": "rest_scope_1",     "policy": "default",     "rangeList": {       "RangeItem": [         {           "end": "1.0.0.100",           "start": "1.0.0.1"         }       ]     },     "subnet": "1.0.0.0/24",     "tenantId": "0",     "vpnId": "0"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:57",     "name": "test",     "policy": "default",     "rangeList": {       "RangeItem": [         {           "end": "2.0.0.100",           "start": "2.0.0.1"         }       ]     },     "subnet": "2.0.0.0/24",     "tenantId": "0",     "vpnId": "0"   } ]</pre>
<b>スコープオブジェクトを名前で取得</b> Cisco Prime Network Registrar スコープオブジェクトを名前で取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	<a href="https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope/rest_scope_1">https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope/rest_scope_1</a>
ヘッダー :	Accept:application/json

応答本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:5b",   "name": "rest_scope_1",   "policy": "default",   "rangeList": {     "RangeItem": [       {         "end": "1.0.0.100",         "start": "1.0.0.1"       }     ]   },   "subnet": "1.0.0.0/24",   "tenantId": "0",   "vpnId": "0" }</pre>
<b>スコープオブジェクトを名前を変更</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar スコープオブジェクトを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope/rest_scope_1
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "name": "rest_scope_1",   "policy": "default",   "rangeList": {     "RangeItem": [       {         "end": "1.0.0.200",         "start": "1.0.0.1"       }     ]   },   "subnet": "1.0.0.0/24",   "tenantId": "0",   "vpnId": "0" }</pre>
<b>スコープオブジェクトリストの変更</b>	
Cisco Prime Network Registrar スコープオブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope
ヘッダー :	Content-Type:application/json

要求本文：	<pre>[   {     "name": "rest_scope_1",     "policy": "default",     "rangeList": {       "RangeItem": [         {           "end": "1.0.0.100",           "start": "1.0.0.1"         }       ]     },     "subnet": "1.0.0.0/24",     "tenantId": "0",     "vpnId": "0"   },   {     "name": "rest_scope_2",     "policy": "default",     "rangeList": {       "RangeItem": [         {           "end": "2.0.0.100",           "start": "2.0.0.1"         }       ]     },     "subnet": "2.0.0.0/24",     "tenantId": "0",     "vpnId": "0"   } ]</pre>
<b>スコープオブジェクトを名前で削除</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar スコープオブジェクトを削除します。	
方式：	DELETE
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope/rest_scope_1
<b>スコープオブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar スコープオブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式：	DELETE
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Scope
ヘッダー：	Content-Type:application/json
要求本文：	<pre>[   {"objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:00:62"},   {"objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:00:57"} ]</pre>

## プレフィックス

IPv6 プレフィックス。プレフィックスは、特定のアドレスプールの DHCPv6 構成を定義します。

### プレフィックスオブジェクトの作成

Cisco Prime Network Registrar プレフィックスオブジェクトを作成します。

方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Prefix
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "address": "2001::/64",   "name": "rest_prefix_1",   "tenantId": "0",   "vpnId": "0" }</pre>

### プレフィックスオブジェクト リストの取得

Cisco Prime Network Registrar プレフィックスオブジェクトのリストを取得します。

方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Prefix
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:61",     "address": "2001::/64",     "name": "rest_prefix_1",     "tenantId": "0",     "vpnId": "0"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:60",     "address": "1001::/64",     "name": "test",     "tenantId": "0",     "vpnId": "0"   } ]</pre>

### プレフィックスオブジェクトを名前で取得

Cisco Prime Network Registrar プレフィックスオブジェクトを名前で取得します。

方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Prefix/rest_prefix_1
ヘッダー :	Accept:application/json

応答本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:61",   "address": "2001::/64",   "name": "rest_prefix_1",   "tenantId": "0",   "vpnId": "0" }</pre>
<b>プレフィックスオブジェクトを名前を変更</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar プレフィックスオブジェクトを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Prefix/rest_prefix_1
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "address": "2001::/64",   "name": "rest_prefix_1",   "description": "rest",   "tenantId": "0",   "vpnId": "0" }</pre>
<b>プレフィックス オブジェクト リストの変更</b>	
Cisco Prime Network Registrar プレフィックスオブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Prefix
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:61",     "address": "2001::/64",     "description": "created via rest",     "name": "rest_prefix_1",     "tenantId": "0",     "vpnId": "0"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:60",     "address": "1001::/64",     "description": "created via manually",     "name": "test",     "tenantId": "0",     "vpnId": "0"   } ]</pre>
<b>プレフィックスオブジェクトを名前で削除</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar プレフィックスオブジェクトを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Prefix/rest_prefix_1

<b>プレフィックス オブジェクト リストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar プレフィックスオブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Prefix
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	[ {"objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:61"}, {"objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:60"} ]

## CCMScopeTemplate

サブネットアドレスからスコープオブジェクトを作成するためのテンプレート。ほとんどの属性は、テンプレートから新しく作成されたスコープに文字通りコピーされます。

<b>CCMScopeTemplate オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMScopeTemplate オブジェクトを作成します。	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMScopeTemplate
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	{ "name": "Rest_Scope_template", "policy": "default", "rangesExpr": "(create-range 1 10)", "scopeName": "(concat \"ISP-\" subnet)", "tenantId": "0" }
<b>CCMScopeTemplate オブジェクトリストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMScopeTemplate オブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMScopeTemplate
ヘッダー :	Accept:application/json



応答本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:53",     "name": "Rest_Scope_template",     "policy": "default",     "rangesExpr": "(create-range 1 10)",     "scopeName": "(concat \"ISP-\" subnet)",     "tenantId": "0"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:52",     "name": "ST",     "policy": "default",     "rangesExpr": "(create-range 1 10)",     "scopeName": "(concat \"ISP-\" subnet)",     "tenantId": "0"   } ]</pre>
<p><b>CCMScopeTemplate オブジェクトを名前を取得</b></p> <p>Cisco Prime Network Registrar CCMScopeTemplate オブジェクトを名前を取得します。</p>	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-serviceeTemplate/Rest_Scope_template
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:53",   "name": "Rest_Scope_template",   "policy": "default",   "rangesExpr": "(create-range 1 10)",   "scopeName": "(concat \"ISP-\" subnet)",   "tenantId": "0" }</pre>
<p><b>CCMScopeTemplate オブジェクトを名前を変更</b></p> <p>指定された Cisco Prime Network Registrar CCMScopeTemplate オブジェクトを変更または作成します。</p>	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMScopeTemplate/Rest_Scope_template
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:53",   "name": "Rest_Scope_template",   "policy": "default",   "rangesExpr": "(create-range 1 100)",   "scopeName": "(concat \"REST-\" subnet)",   "tenantId": "0" }</pre>
<p><b>CCMScopeTemplate オブジェクトリストの変更</b></p> <p>Cisco Prime Network Registrar CCMScopeTemplate オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。</p>	
方式 :	PUT

エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMScopeTemplate
ヘッダー:	Content-Type:application/json
要求本文:	[ <pre>       {         "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:53",         "name": "Rest_Scope_template",         "policy": "default",         "rangesExpr": "(create-range 1 10)",         "scopeName": "(concat \"REST-\" subnet)",         "tenantId": "0"       },       {         "name": "Rest_Scope_template_for_delete",         "policy": "default",         "rangesExpr": "(create-range 1 10)",         "scopeName": "(concat \"ISP-\" subnet)",         "tenantId": "0"       }     ]       </pre>
<b>CCMScopeTemplate オブジェクトを名前で削除</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar CCMScopeTemplate オブジェクトを削除します。	
方式:	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMScopeTemplate/Rest_Scope_template_for_delete
<b>CCMScopeTemplate オブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMScopeTemplate オブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式:	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMScopeTemplate
ヘッダー:	Content-Type:application/json
要求本文:	[ <pre>       { "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:52" },       { "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:53" }     ]       </pre>

## PrefixTemplate

IPv6 プレフィックスを作成するためのテンプレート。

<b>PrefixTemplate オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar PrefixTemplate オブジェクトを作成します。	
方式:	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/PrefixTemplate

ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "name": "rest_pt_1",   "policy": "default",   "prefixDescriptionExpr": "(concat \"CM-\" prefix)",   "tenantId": "0" }</pre>
<b>PrefixTemplate オブジェクトリストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar PrefixTemplate オブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/PrefixTemplate
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6b",     "description": "ss",     "name": "pt",     "policy": "default",     "prefixDescriptionExpr": "(concat \"CM-\" prefix)",     "tenantId": "0"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6d",     "description": "rest_put_by_name",     "name": "rest_pt_1",     "policy": "default",     "prefixDescriptionExpr": "(concat \"CM-\" prefix)",     "tenantId": "0"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6c",     "name": "Rest_Scope_template_1",     "policy": "default",     "tenantId": "0"   } ]</pre>
<b>PrefixTemplate オブジェクトを名前で取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar PrefixTemplate オブジェクトを名前で取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/PrefixTemplate/rest_pt_1
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6d",   "name": "rest_pt_1",   "policy": "default",   "prefixDescriptionExpr": "(concat \"CM-\" prefix)",   "tenantId": "0" }</pre>

<b>PrefixTemplate オブジェクトを名前を変更</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar PrefixTemplate オブジェクトを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/PrefixTemplate/rest_pt_1
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:6d",   "name": "rest_pt_1",   "policy": "default",   "prefixDescriptionExpr": "(concat \"CM-\" prefix)",   "tenantId": "0",   "description": "rest_put_by_name" }</pre>
<b>PrefixTemplate オブジェクトリストの変更</b>	
Cisco Prime Network Registrar PrefixTemplate オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/PrefixTemplate
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>[   {     "name": "rest_pt_2",     "policy": "default",     "prefixDescriptionExpr": "(concat \"CPE-\" prefix)",     "tenantId": "0"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:6d",     "description": "rest_put_by_all",     "name": "rest_pt_1",     "policy": "default",     "prefixDescriptionExpr": "(concat \"CM-\" prefix)",     "tenantId": "0"   } ]</pre>
<b>PrefixTemplate オブジェクトを名前削除</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar PrefixTemplate オブジェクトを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/PrefixTemplate/rest_pt_2
<b>PrefixTemplate オブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar PrefixTemplate オブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式 :	DELETE

エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/PrefixTemplate
ヘッダー:	Content-Type:application/json
要求本文:	[ <pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6b"}, {   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6c"} ]</pre>

## リンク

物理ネットワークリンク。複数の論理 IP ネットワークが同じリンク上で同時に実行されている場合があります。

<b>リンクオブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar リンクオブジェクトを作成します。	
方式:	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Link
ヘッダー:	Content-Type:application/json
要求本文:	{ <pre>  "description": "rest_link",   "name": "rest_link_1",   "tenantId": "0",   "vpnId": "0" }</pre>
<b>リンクオブジェクトリストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar リンクオブジェクトのリストを取得します。	
方式:	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Link
ヘッダー:	Accept:application/json
応答本文:	[ <pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6f",   "description": "test",   "name": "l1",   "tenantId": "0",   "vpnId": "0" }, {   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:70",   "description": "rest_link",   "name": "rest_link_1",   "tenantId": "0",   "vpnId": "0" } ]</pre>

<b>リンクオブジェクトを名前を取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar リンクオブジェクトを名前を取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Link/rest_link_1
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:70",   "description": "rest_link",   "name": "rest_link_1",   "tenantId": "0",   "vpnId": "0" }</pre>
<b>リンクオブジェクトを名前に変更</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar リンクオブジェクトを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Link/rest_link_1
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:70",   "description": "rest_put_byname",   "name": "rest_link_1",   "tenantId": "0",   "vpnId": "0" }</pre>
<b>リンクオブジェクトリストの変更</b>	
Cisco Prime Network Registrar リンクオブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Link
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>[   {     "name": "rest_link_2",     "tenantId": "0",     "vpnId": "0"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:70",     "description": "rest_put_all",     "name": "rest_link_1",     "tenantId": "0",     "vpnId": "0"   } ]</pre>

<b>リンクオブジェクトを名前で削除</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar リンクオブジェクトを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Link/rest_link_2
<b>リンクオブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar リンクオブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Link
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	[ {"objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6f"}, {"objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:70"} ]

## LinkTemplate

IPv6 リンクと関連するプレフィックスを作成するためのテンプレート。

<b>LinkTemplate オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar LinkTemplate オブジェクトを作成します。	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/LinkTemplate
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	{ "description": "rest_create", "linkNameExpr": "(concat \"link-\" prefix)", "name": "rest_lt_1", "prefixExpr": "(list\n (create-prefix \"cm-prefix\" (create-prefix-range 32 1))\n (create-prefix \"cpe-address-prefix\" (create-prefix-range 32 2))\n (create-prefix \"cpe-pd-prefix\" (create-prefix-range 16 1)))", "tenantId": "0" }
<b>LinkTemplate オブジェクトリストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar LinkTemplate オブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/LinkTemplate
ヘッダー :	Accept:application/json

応答本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:72",     "description": "lt",     "linkNameExpr": "(concat \"link-\" prefix)",     "name": "lt",     "prefixExpr": "(list\n (create-prefix \"cm-prefix\" (create-prefix-range 32 1))\n (create-prefix \"cpe-address-prefix\" (create-prefix-range 32 2))\n (create-prefix \"cpe-pd-prefix\" (create-prefix-range 16 1)))",     "tenantId": "0"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:73",     "description": "rest_create",     "linkNameExpr": "(concat \"link-\" prefix)",     "name": "rest_lt_1",     "prefixExpr": "(list\n (create-prefix \"cm-prefix\" (create-prefix-range 32 1))\n (create-prefix \"cpe-address-prefix\" (create-prefix-range 32 2))\n (create-prefix \"cpe-pd-prefix\" (create-prefix-range 16 1)))",     "tenantId": "0"   } ]</pre>
<b>LinkTemplate オブジェクトを名前で取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar LinkTemplate オブジェクトを名前で取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/LinkTemplate/rest_lt_1
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:73",   "description": "rest_create",   "linkNameExpr": "(concat \"link-\" prefix)",   "name": "rest_lt_1",   "prefixExpr": "(list\n (create-prefix \"cm-prefix\" (create-prefix-range 32 1))\n (create-prefix \"cpe-address-prefix\" (create-prefix-range 32 2))\n (create-prefix \"cpe-pd-prefix\" (create-prefix-range 16 1)))",   "tenantId": "0" }</pre>
<b>LinkTemplate オブジェクトを名前で変更</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar LinkTemplate オブジェクトを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/LinkTemplate/rest_lt_1
ヘッダー :	Content-Type:application/json



要求本文：	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:73",   "description": "rest_put_byname",   "linkNameExpr": "(concat \"link-\" prefix)",   "name": "rest_lt_1",   "prefixExpr": "(list\n (create-prefix \"cm-prefix\" (create-prefix-range 32 1))\n (create-prefix \"cpe-address-prefix\" (create-prefix-range 32 2))\n (create-prefix \"cpe-pd-prefix\" (create-prefix-range 16 1)))",   "tenantId": "0" }</pre>
<b>LinkTemplate オブジェクトリストの変更</b> <p>Cisco Prime Network Registrar LinkTemplate オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。</p>	
方式：	PUT
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/LinkTemplate
ヘッダー：	Content-Type:application/json
要求本文：	<pre>[   {     "linkNameExpr": "(concat \"link-\" prefix)",     "name": "rest_l_2",     "prefixExpr": "(list\n (create-prefix \"cm-prefix\" (create-prefix-range 32 1))\n (create-prefix \"cpe-address-prefix\" (create-prefix-range 32 2))\n (create-prefix \"cpe-pd-prefix\" (create-prefix-range 16 1)))",     "tenantId": "0"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:73",     "description": "rest_put_all",     "linkNameExpr": "(concat \"link-\" prefix)",     "name": "rest_lt_1",     "prefixExpr": "(list\n (create-prefix \"cm-prefix\" (create-prefix-range 32 1))\n (create-prefix \"cpe-address-prefix\" (create-prefix-range 32 2))\n (create-prefix \"cpe-pd-prefix\" (create-prefix-range 16 1)))",     "tenantId": "0"   } ]</pre>
<b>LinkTemplate オブジェクトを名前で削除</b> <p>指定された Cisco Prime Network Registrar LinkTemplate オブジェクトを削除します。</p>	
方式：	DELETE
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/LinkTemplate/rest_lt_1

<b>LinkTemplate オブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar LinkTemplate オブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/LinkTemplate
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	[ {"objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:72"}, {"objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:74"} ]

## ポリシー

DHCP ポリシーオブジェクト。ポリシーは、リースを許可するときに適用する必要がある DHCP オプションとサーバーポリシー設定のセットを定義します。

<b>ポリシーオブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar ポリシーオブジェクトを作成します。	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Policy
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	{ "name": "rest_policy1" }
<b>ポリシーオブジェクトリストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar ポリシーオブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Policy
ヘッダー :	Accept:application/json

応答本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:04",     "gracePeriod": "5m",     "name": "default",     "offerTimeout": "2m",     "optionList": {       "OptionItem": [         {           "number": "51",           "value": "1w"         }       ]     },     "tenantId": "0"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6e",     "forwardDnsupdate": "update1",     "forwardZoneName": "zone1.com.",     "name": "p1",     "optionList": {       "OptionItem": [         {           "number": "51",           "optionDefinitionSetName": "dhcp-config",           "value": "2w"         },         {           "number": "5",           "optionDefinitionSetName": "dhcp-config",           "value": "10.104.245.212"         }       ]     },     "tenantId": "0",     "vendorOptions": {       "OptionItem": [         {           "number": "1",           "optionDefinitionSetName": "rest-vend-op1",           "value": "(suboption1 10 1.1.1.1)"         }       ]     }   } ]</pre>
<b>ポリシーオブジェクトを名前で取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar ポリシーオブジェクトを名前で取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Policy/rest_policy1
ヘッダー :	Accept:application/json

応答本文：	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:99",   "name": "rest_policy1",   "optionList": {     "OptionItem": [       {         "number": "51",         "optionDefinitionSetName": "dhcp-config",         "value": "2w"       },       {         "number": "5",         "optionDefinitionSetName": "dhcp-config",         "value": "10.104.245.212"       }     ]   },   "tenantId": "0" }</pre>
<b>ポリシーオブジェクトを名前で変更</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar ポリシーオブジェクトを変更または作成します。	
方式：	PUT
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Policy/rest_policy1
ヘッダー：	Content-Type:application/json
要求本文：	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:99",   "name": "rest_policy1",   "optionList": {     "OptionItem": [       {         "number": "51",         "optionDefinitionSetName": "dhcp-config",         "value": "2w"       },       {         "number": "5",         "optionDefinitionSetName": "dhcp-config",         "value": "10.104.245.212"       }     ]   } }</pre>
<b>ポリシーオブジェクトリストの変更</b>	
Cisco Prime Network Registrar ポリシーオブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式：	PUT
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Policy
ヘッダー：	Content-Type:application/json

要求本文 :	<pre>[   {     "forwardDnsupdate": "update1",     "forwardZoneName": "zone1.com.",     "name": "rest_policy2",     "optionList": {       "OptionItem": [         {           "number": "51",           "optionDefinitionSetName": "dhcp-config",           "value": "2w"         },         {           "number": "5",           "optionDefinitionSetName": "dhcp-config",           "value": "10.104.245.212"         }       ]     },     "tenantId": "0",     "vendorOptions": {       "OptionItem": [         {           "number": "1",           "optionDefinitionSetName": "rest-vend-op1",           "value": "(suboption1 10 1.1.1.1)"         },         {           "number": "125",           "optionDefinitionSetName": "rest-vend-opt-125",           "value": "(1 (2 test))"         }       ]     }   },   {     "name": "rest_policy3"   } ]</pre>
<b>ポリシーオブジェクトを名前で削除</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar ポリシーオブジェクトを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Policy/rest_policy1
<b>ポリシーオブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar ポリシーオブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Policy
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>[   {"objectOid": "OID-00:00:00:00:00:00:00:9b"},   {"objectOid": "OID-00:00:00:00:00:00:00:9a"} ]</pre>

## OptionDefinitionSet

DHCP オプション定義のセットが含まれています。DHCPv4 用に 1 つのセットを定義し、DHCPv6 用に別のセットを定義します。オプション定義は、サーバーの対応する組み込み定義をオーバーライドします。このクラスは、ベンダーオプション定義セットにも使用します。ベンダーオプション定義セットは必要な数だけ持つことができます。

### OptionDefinitionSet オブジェクトの作成

Cisco Prime Network Registrar OptionDefinitionSet オブジェクトを作成します。

方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/OptionDefinitionSet
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre> {   "desc": "",   "flags": "customized,vendor",   "idRange": "1",   "name": "rest-vend-opt-125",   "optionList": {     "AttrDescItem": [       {         "baseType": "AT_VENDOR_OPTS",         "flags": "",         "id": "125",         "name": "rest_option1",         "optionList": {           "AttrDescItem": [             {               "baseType": "AT_IPADDR",               "flags": "",               "id": "1",               "name": "giaddr",               "optionList": {                 "AttrDescItem": [                   {                     "baseType": "AT_STRING",                     "flags": "",                     "id": "2",                     "name": "domainname",                     "repeat": "0"                   }                 ]               }             }           ]         },         "repeat": "0"       }     ]   },   "repeat": "0" } </pre>

<b>OptionDefinitionSet オブジェクトリストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar OptionDefinitionSet オブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/OptionDefinitionSet
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>[   {     "desc": "CableLabs v4 DOCSIS 3.0",     "flags": "builtin,vendor",     "idRange": "1",     "name": "dhcp-cablelabs-config",     "optionList": {       "AttrDescItem": [         {           "baseType": "AT_BLOB",           "flags": "AF_NO_CONFIG_OPTION,AF_IMMUTABLE",           "id": "82",           "name": "relay-agent-info",           "optionList": {             "AttrDescItem": [               {                 "baseType": "AT_VENDOR_OPTS",                 "flags": "AF_NO_CONFIG_OPTION,AF_IMMUTABLE",                 "id": "9",                 "name": "v-i-vendor-opts",                 "optionList": {                   "AttrDescItem": [                     {                       "baseType": "AT_BLOB",                       "flags": "AF_NO_CONFIG_OPTION,AF_IMMUTABLE",                       "id": "1",                       "name": "cmts-capabilities",                       "optionList": {                         "AttrDescItem": [                           {                             "baseType": "AT_BLOB",                             "flags": "AF_NO_CONFIG_OPTION,AF_IMMUTABLE",                             "id": "1",                             "name": "docsis-version",                             "optionList": {                               "AttrDescItem": [                                 {                                   "baseType": "AT_INT8",                                   "flags": "AF_NO_CONFIG_OPTION,AF_IMMUTABLE",                                   "id": "0",                                   "name": "docsis-major-version",                                   "repeat": "0"                                 }                               ]                             }                           }                         ]                       }                     }                   ]                 }               }             ]           }         }       ]     }   } ]</pre>

<b>OptionDefinitionSet オブジェクトを名前で取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar OptionDefinitionSet オブジェクトを名前で取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/OptionDefinitionSet/rest-vend-opt-125
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre> {   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:91",   "desc": "",   "flags": "customized,vendor",   "idRange": "1",   "name": "rest-vend-opt-125",   "optionList": {     "AttrDescItem": [       {         "baseType": "AT_VENDOR_OPTS",         "flags": "",         "id": "125",         "name": "ven-opt",         "optionList": {           "AttrDescItem": [             {               "baseType": "AT_IPADDR",               "flags": "",               "id": "1",               "name": "giaddr",               "optionList": {                 "AttrDescItem": [                   {                     "baseType": "AT_STRING",                     "flags": "",                     "id": "2",                     "name": "domainname",                     "repeat": "0"                   }                 ]               }             }           ]         },         "repeat": "0"       }     ]   },   "repeat": "0" } </pre>
<b>OptionDefinitionSet オブジェクトを名前で変更</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar OptionDefinitionSet オブジェクトを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/OptionDefinitionSet/rest-vend-opt-2
ヘッダー :	Content-Type:application/json



要求本文：	<pre>{   "flags": "customized,vendor",   "idRange": "2",   "name": "rest-vend-opt-2",   "vendorOptionEnterpriseId": "100" }</pre>
<b>OptionDefinitionSet オブジェクトを名前で削除</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar OptionDefinitionSet オブジェクトを削除します。	
方式：	DELETE
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/OptionDefinitionSet/rest-vend-opt-125

## CCMZone

フォワードプライマリ DNS ゾーン。プライマリ DNS ゾーンの構成について説明します。

<b>CCMZone オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMZone オブジェクトを作成します。	
方式：	POST
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMZone
ヘッダー：	Content-Type:application/json
要求本文：	<pre>{   "defttl": "24h",   "expire": "1w",   "minttl": "10m",   "nameservers": {     "stringItem": [       "ns.cisco.com."     ]   },   "ns": "ns.cisco.com.",   "origin": "cisco.com.",   "person": "mail1.cisco.com.",   "refresh": "3h",   "retry": "60m",   "serial": "1",   "tenantId": "0",   "viewId": "0" }</pre>
<b>CCMZone オブジェクトリストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMZone オブジェクトのリストを取得します。	
方式：	GET
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMZone?viewId=3
ヘッダー：	Accept:application/json

応答本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:76",     "defttl": "10h",     "description": "external",     "expire": "1w",     "minttl": "10m",     "nameservers": {       "stringItem": [         "ns.cisco.com."       ]     },     "ns": "ns.cisco.com.",     "origin": "cisco.com.",     "person": "maill.cisco.com.",     "refresh": "3h",     "retry": "60m",     "serial": "1",     "tenantId": "0",     "viewId": "3"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:70",     "defttl": "24h",     "expire": "1w",     "minttl": "10m",     "nameservers": {       "stringItem": [         "ns.test.com."       ]     },     "ns": "ns.test.com.",     "origin": "test.com.",     "person": "maill.test.com.",     "refresh": "3h",     "retry": "60m",     "serial": "1",     "tenantId": "0",     "viewId": "3"   } ]</pre>
<b>CCMZone オブジェクトを名前で取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMZone オブジェクトを名前で取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	<a href="https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMZone/cisco.com">https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMZone/cisco.com</a> .
ヘッダー :	Accept:application/json

応答本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:77",   "defttl": "24h",   "expire": "1w",   "minttl": "10m",   "nameservers": {     "stringItem": [       "ns.cisco.com."     ]   },   "ns": "ns.cisco.com.",   "origin": "cisco.com.",   "person": "maill.cisco.com.",   "refresh": "3h",   "retry": "60m",   "serial": "1",   "tenantId": "0",   "viewId": "0" }</pre>
<b>CCMZone オブジェクトを名前を変更</b> 指定された Cisco Prime Network Registrar CCMZone オブジェクトを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMZone/cisco.com.
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:7e",   "defttl": "14h",   "expire": "1w",   "minttl": "10m",   "nameservers": {     "stringItem": [       "ns.cisco.com."     ]   },   "ns": "ns.cisco.com.",   "origin": "cisco.com.",   "person": "maill.cisco.com.",   "refresh": "1h",   "retry": "60m",   "serial": "1",   "tenantId": "0",   "viewId": "0" }</pre>
<b>CCMZone オブジェクトリストの変更</b> Cisco Prime Network Registrar CCMZone オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMZone
ヘッダー :	Content-Type:application/json

要求本文 :	<pre>[   {     "defttl": "10h",     "description": "external",     "expire": "1w",     "minttl": "10m",     "nameservers": {       "stringItem": [         "ns.isco.com."       ]     },     "ns": "ns.isco.com.",     "origin": "isco.com.",     "person": "maill.isco.com.",     "refresh": "3h",     "retry": "60m",     "serial": "1",     "tenantId": "0",     "viewId": "3"   },   {     "defttl": "24h",     "expire": "1w",     "minttl": "10m",     "nameservers": {       "stringItem": [         "ns.cscocom.com."       ]     },     "ns": "ns.cscocom.com.",     "origin": "cscocom.com.",     "person": "maill.cscocom.com.",     "refresh": "3h",     "retry": "60m",     "serial": "1",     "tenantId": "0",     "viewId": "2"   },   {     "objectOid": "OID-00:00:00:00:00:00:00:7e",     "defttl": "24h",     "expire": "1w",     "minttl": "10m",     "nameservers": {       "stringItem": [         "ns.ciscocom.com."       ]     },     "ns": "ns.ciscocom.com.",     "origin": "ciscocom.com.",     "person": "maill.ciscocom.com.",     "refresh": "3h",     "retry": "60m",     "serial": "1",     "tenantId": "0",     "viewId": "0"   } ]</pre>
<b>CCMZone オブジェクトを名前です削除</b> 指定された Cisco Prime Network Registrar CCMZone オブジェクトを削除します。	

方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMZone/cisco.com.
<b>CCMZone オブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMZone オブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMZone
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:7f",     "viewId": "3"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:81",     "viewId": "2"   } ]</pre>

## CCMReverseZone

リバースプライマリ DNS ゾーン。

<b>CCMReverseZone オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMReverseZone オブジェクトを作成します。	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMReverseZone
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "defttl": "24h",   "expire": "1w",   "minttl": "10m",   "nameservers": {     "stringItem": [       "ns.1.in-addr.arpa."     ]   },   "ns": "ns.1.in-addr.arpa.",   "origin": "1.in-addr.arpa.",   "person": "mail1.1.in-addr.arpa.",   "refresh": "3h",   "retry": "60m",   "serial": "1",   "tenantId": "0",   "viewId": "0" }</pre>

<b>CCMReverseZoneObject リストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMReverseZone オブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMReverseZone
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>[   {     "objectOid": "OID-00:00:00:00:00:00:00:85",     "defttl": "24h",     "expire": "1w",     "minttl": "10m",     "nameservers": {       "stringItem": [         "ns.1.in-addr.arpa."       ]     },     "ns": "ns.1.in-addr.arpa.",     "origin": "1.in-addr.arpa.",     "person": "mail1.1.in-addr.arpa.",     "refresh": "3h",     "retry": "60m",     "serial": "1",     "tenantId": "0",     "viewId": "0"   },   {     "objectOid": "OID-00:00:00:00:00:00:00:02",     "defttl": "24h",     "distMap": "OID-00:00:00:00:00:00:00:00",     "expire": "1w",     "minttl": "10m",     "nameservers": {       "stringItem": [         "localhost.127.in-addr.arpa."       ]     },     "ns": "localhost.127.in-addr.arpa.",     "origin": "127.in-addr.arpa.",     "person": "loopback.127.in-addr.arpa.",     "refresh": "3h",     "retry": "60m",     "serial": "1",     "tenantId": "0"   } ]</pre>
<b>CCMReverseZone オブジェクトを名前取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMReverseZone オブジェクトを名前取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMReverseZone/30.in-addr.arpa.?viewId=3
ヘッダー :	Accept:application/json

応答本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:8a",   "defttl": "10h",   "description": "external",   "expire": "1w",   "minttl": "10m",   "nameservers": {     "stringItem": [       "ns.30.in-addr.arpa."     ]   },   "ns": "ns.30.in-addr.arpa.",   "origin": "30.in-addr.arpa.",   "person": "maill.30.in-addr.arpa.",   "refresh": "3h",   "retry": "60m",   "serial": "1",   "tenantId": "0",   "viewId": "3" }</pre>
<b>CCMReverseZone オブジェクトを名前を変更</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar CCMReverseZone オブジェクトを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	<a href="https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMReverseZone/1.in-addr.arpa">https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMReverseZone/1.in-addr.arpa</a> .
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:85",   "defttl": "14h",   "expire": "1w",   "minttl": "10m",   "nameservers": {     "stringItem": [       "ns.1.in-addr.arpa."     ]   },   "ns": "ns.1.in-addr.arpa.",   "origin": "1.in-addr.arpa.",   "person": "maill.1.in-addr.arpa.",   "refresh": "1h",   "retry": "60m",   "serial": "1",   "tenantId": "0",   "viewId": "0" }</pre>
<b>CCMReverseZone オブジェクトリストの変更</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMReverseZone オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	<a href="https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMReverseZone">https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMReverseZone</a>
ヘッダー :	Content-Type:application/json

要求本文 :	<pre>[   {     "defttl": "10h",     "description": "external",     "expire": "1w",     "minttl": "10m",     "nameservers": {       "stringItem": [         "ns.30.in-addr.arpa."       ]     },     "ns": "ns.30.in-addr.arpa.",     "origin": "30.in-addr.arpa.",     "person": "maill.30.in-addr.arpa.",     "refresh": "3h",     "retry": "60m",     "serial": "1",     "tenantId": "0",     "viewId": "3"   },   {     "defttl": "24h",     "expire": "1w",     "minttl": "10m",     "nameservers": {       "stringItem": [         "ns.20.in-addr.arpa."       ]     },     "ns": "ns.20.in-addr.arpa.",     "origin": "20.in-addr.arpa.",     "person": "maill.20.in-addr.arpa.",     "refresh": "3h",     "retry": "60m",     "serial": "1",     "tenantId": "0",     "viewId": "2"   },   {     "objectOid": "OID-00:00:00:00:00:00:00:85",     "defttl": "24h",     "expire": "1w",     "minttl": "10m",     "nameservers": {       "stringItem": [         "ns.1.in-addr.arpa."       ]     },     "ns": "ns.1.in-addr.arpa.",     "origin": "1.in-addr.arpa.",     "person": "maill.1.in-addr.arpa.",     "refresh": "3h",     "retry": "60m",     "serial": "1",     "tenantId": "0",     "viewId": "0"   } ]</pre>
<b>CCMReverseZone オブジェクトを名前で削除</b> 指定された Cisco Prime Network Registrar CCMReverseZone オブジェクトを削除します。	



方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMReverseZone/20.in-addr.arpa.?viewId=2
<b>CCMReverseZone オブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMReverseZone オブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMReverseZone
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	[ <pre>       {         "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:8a",         "viewId": "3"       },       {         "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:87",         "viewId": "0"       }     ]</pre>

## CCMRRSet

単一のネームセット内の DNS RR のセットを指定します。セット内のすべての RR は同じ名前である必要がありますが、タイプまたはデータが異なります。

<b>CCMRRSet オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMRRSet オブジェクトを作成します。	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMRRSet?"zoneOrigin=cisco2.com.&viewId=2"
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	{ <pre>       "hostHealthCheck": "ping",       "lastAccessTime": "none",       "lastResetTime": "none",       "name": "rest_p_host1",       "protectedState": "protected",       "rrList": {         "CCMRRItem": [           {             "order": "1",             "rdata": "2.2.2.2",             "rrClass": "IN",             "rrType": "A",             "weight": "1"           }         ]       }     }</pre>

	<pre>         {             "order": "2",             "rdata": "10.104.245.105",             "rrClass": "IN",             "rrType": "A",             "weight": "2"         }     ] }, "tenantId": "0", "zone": "OID-00:00:00:00:00:00:82", "zoneOrigin": "cisco2.com." } </pre>
<b>CCMRRSet リストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMRRSet オブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	<a href="https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMRRSet?zoneOrigin=cisco2.com.&amp;viewId=2">https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMRRSet?zoneOrigin=cisco2.com.&amp;viewId=2</a>
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre> [   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:1b",     "axfrVersion": "0",     "hits": "0",     "hostHealthCheck": "off",     "lastAccessTime": "none",     "lastResetTime": "none",     "name": "@",     "protectedState": "protected",     "rrList": {       "CCMRRItem": [         {           "axfrVersion": "0",           "order": "0",           "rdata": "ns.cisco2.com. mail1.cisco2.com. 28 10800 3600 604800 600",           "rrClass": "IN",           "rrType": "SOA",           "timestamp": "Sat Jan 16 15:44:21 2021",           "ttl": "-1",           "weight": "1"         }, </pre>

	<pre>        {           "axfrVersion": "0",           "order": "0",           "rdata": "ns.cisco2.com.",           "rrClass": "IN",           "rrType": "NS",           "timestamp": "Sat Jan 16 15:44:21 2021",           "ttl": "-1",           "weight": "1"         }       ]     },     "tenantId": "0",     "zone": "OID-00:00:00:00:00:00:82",     "zoneOrigin": "cisco2.com."   }, {     "objectOid": "OID-00:00:00:00:00:00:2a",     "axfrVersion": "0",     "hits": "0",     "hostHealthCheck": "ping",     "lastAccessTime": "none",     "lastResetTime": "none",     "name": "p_h1",     "protectedState": "protected",     "rrList": {       "CCMRRItem": [         {           "axfrVersion": "0",           "order": "0",           "rdata": "10.104.245.110",           "rrClass": "IN",           "rrType": "A",           "timestamp": "Sat Jan 16 21:28:52 2021",           "ttl": "-1",           "weight": "1"         },         {           "axfrVersion": "0",           "order": "2",           "rdata": "1.1.1.1",           "rrClass": "IN",           "rrType": "A",           "timestamp": "Sat Jan 16 21:31:48 2021",           "ttl": "-1",           "weight": "2"         },         {           "axfrVersion": "0",           "order": "0",           "rdata": "1001::",           "rrClass": "IN",           "rrType": "AAAA",           "timestamp": "Sat Jan 16 21:29:09 2021",           "ttl": "-1",           "weight": "1"         }       ]     },     "tenantId": "0",     "zone": "OID-00:00:00:00:00:00:82",     "zoneOrigin": "cisco2.com."   } ]</pre>
--	--

<b>CCMRRSet オブジェクトを名前で取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMRRSet オブジェクトを名前で取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMRRSet/rest_up_host2?"zoneOrigin=cisco2.com.&viewId=2"
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>{   "objectOid": "OID-00:00:00:00:00:00:00:31",   "axfrVersion": "0",   "hits": "0",   "hostHealthCheck": "ping",   "lastAccessTime": "none",   "lastResetTime": "none",   "name": "rest_up_host2",   "protectedState": "unprotected",   "rrList": {     "CCMRRItem": [       {         "axfrVersion": "0",         "order": "1",         "rdata": "2.2.2.2",         "rrClass": "IN",         "rrType": "A",         "timestamp": "Sat Jan 16 22:19:51 2021",         "ttl": "-1",         "weight": "1"       },       {         "axfrVersion": "0",         "order": "2",         "rdata": "10.104.245.105",         "rrClass": "IN",         "rrType": "A",         "timestamp": "Sat Jan 16 22:19:51 2021",         "ttl": "-1",         "weight": "2"       }     ]   },   "tenantId": "0",   "zone": "OID-00:00:00:00:00:00:00:82",   "zoneOrigin": "cisco2.com." }</pre>
<b>CCMRRSet オブジェクトを名前で変更</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar CCMRRSet オブジェクトを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMRRSet/rest_up_host1?"zoneOrigin=cisco2.com.&viewId=2"
ヘッダー :	Content-Type:application/json

要求本文 :	<pre>{   "hostHealthCheck": "off",   "lastAccessTime": "none",   "lastResetTime": "none",   "name": "rest_up_host1",   "protectedState": "unprotected",   "rrList": {     "CCMRRItem": [       {         "order": "1",         "rdata": "2.2.2.2",         "rrClass": "IN",         "rrType": "A",         "weight": "1"       },       {         "order": "2",         "rdata": "10.104.245.105",         "rrClass": "IN",         "rrType": "A",         "weight": "2"       }     ]   },   "tenantId": "0",   "zone": "OID-00:00:00:00:00:00:00:82",   "zoneOrigin": "cisco2.com." }</pre>
<b>CCMRRSet オブジェクトリストの変更</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMRRSet オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	<a href="https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMRRSet?zoneOrigin=cisco2.com.&amp;viewId=2">https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMRRSet?zoneOrigin=cisco2.com.&amp;viewId=2</a>
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>[   {     "objectOid": "OID-00:00:00:00:00:00:00:2f",     "axfrVersion": "0",     "hits": "0",     "hostHealthCheck": "ping",     "lastAccessTime": "none",     "lastResetTime": "none",     "name": "rest_up_host1",     "protectedState": "unprotected",     "rrList": {       "CCMRRItem":</pre>

	<pre>[   {     {       "axfrVersion": "0",       "order": "1",       "rdata": "2.2.2.21",       "rrClass": "IN",       "rrType": "A",       "timestamp": "Sat Jan 16 21:55:08 2021",       "ttl": "-1",       "weight": "1"     },     {       "axfrVersion": "0",       "order": "2",       "rdata": "10.104.245.105",       "rrClass": "IN",       "rrType": "A",       "timestamp": "Sat Jan 16 21:55:08 2021",       "ttl": "-1",       "weight": "2"     }   } ], "tenantId": "0", "zone": "OID-00:00:00:00:00:00:00:82", "zoneOrigin": "cisco2.com." }, {   "hostHealthCheck": "ping",   "name": "rest_up_host2",   "protectedState": "unprotected",   "rrList": {     "CCMRRItem": [       {         "order": "1",         "rdata": "2.2.2.2",         "rrClass": "IN",         "rrType": "A",         "ttl": "-1",         "weight": "1"       },       {         "order": "2",         "rdata": "10.104.245.105",         "rrClass": "IN",         "rrType": "A",         "ttl": "-1",         "weight": "2"       }     ]   } }, "tenantId": "0", "zone": "OID-00:00:00:00:00:00:00:82", "zoneOrigin": "cisco2.com." } ]</pre>
<b>CCMRRSet オブジェクトを名前で削除</b>	指定された Cisco Prime Network Registrar CCMRRSet オブジェクトを削除します。
方式 :	DELETE

エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMRRSet/rest_up_host2?"zoneOrigin=cisco2.com.&viewId=2"
<b>CCMRRSet オブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMRRSet オブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式:	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMRRSet?"zoneOrigin=cisco2.com.&viewId=2"
ヘッダー:	Content-Type:application/json
要求本文:	[ <pre>           {"name": "p_h1"},           {"name": "u_h1"},           {"name": "rest_up_host1"}         </pre> ]

## CCMHost

DNS ホストレコードを定義します。CCMHost オブジェクトは、少なくとも 1 つの A または AAAA レコードを含む保護された名前ごとに作成されます。CCMHost オブジェクトは、関連付けられた PTR および CNAME レコードを自動的に維持できます。

<b>CCMHost オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMHost オブジェクトを作成します。	
方式:	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMHost?"zoneOrigin=cisco2.com.&viewId=2"
ヘッダー:	Content-Type:application/json
要求本文:	{ <pre>           "addrs": {             "stringItem": [               "2.0.0.1"             ]           },           "ip6AddressList": {             "stringItem": [               "2001::"             ]           },           "name": "rest_host2",           "tenantId": "0",           "zone": "OID-00:00:00:00:00:00:00:82",           "zoneOrigin": "cisco2.com."         </pre> }

<b>CCMHost リストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMHost オブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMHost?"zoneOrigin=cisco2.com.&viewId=2"
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:93",     "addr": {       "stringItem": [         "1.0.0.1"       ]     },     "ip6AddressList": {       "stringItem": [         "1001::"       ]     },     "name": "rest_host1",     "tenantId": "0",     "zone": "OID-00:00:00:00:00:00:00:82"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:94",     "addr": {       "stringItem": [         "2.0.0.1"       ]     },     "ip6AddressList": {       "stringItem": [         "2001::"       ]     },     "name": "rest_host2",     "tenantId": "0",     "zone": "OID-00:00:00:00:00:00:00:82",     "zoneOrigin": "cisco2.com."   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:95",     "addr": {       "stringItem": [         "3.0.0.1"       ]     },     "ip6AddressList": {       "stringItem": [         "3001::"       ]     },     "name": "rest_host3",     "tenantId": "0",     "zone": "OID-00:00:00:00:00:00:00:82",     "zoneOrigin": "cisco2.com."   } ]</pre>



<b>CCMHost オブジェクトを名前取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMHost オブジェクトを名前取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMHost/rest_host3?zoneOrigin=cisco2.com.&viewId=2"
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:95",   "addr": {     "stringItem": [       "3.0.0.1"     ]   },   "ip6AddressList": {     "stringItem": [       "3001::"     ]   },   "name": "rest_host3",   "tenantId": "0",   "zone": "OID-00:00:00:00:00:00:00:82",   "zoneOrigin": "cisco2.com." }</pre>
<b>CCMHost オブジェクトを名前変更</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar CCMHost オブジェクトを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMHost/rest_host3?zoneOrigin=cisco2.com.&viewId=2"
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "addr": {     "stringItem": [       "2.0.0.1"     ]   },   "ip6AddressList": {     "stringItem": [       "2001::"     ]   },   "name": "rest_host3",   "tenantId": "0",   "zone": "OID-00:00:00:00:00:00:00:82",   "zoneOrigin": "cisco2.com." }</pre>

<b>CCMHost オブジェクトリストの変更</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMHost オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMHost?"zoneOrigin=cisco2.com.&viewId=2"
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>[   {     "objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:95",     "addrs": {       "stringItem": [         "3.0.0.1"       ]     },     "ip6AddressList": {       "stringItem": [         "3001::"       ]     },     "name": "rest_host3",     "tenantId": "0",     "zone": "OID-00:00:00:00:00:00:82",     "zoneOrigin":"cisco2.com."   },   {     "addrs": {       "stringItem": [         "3.0.0.1"       ]     },     "ip6AddressList": {       "stringItem": [         "4001::"       ]     },     "name": "rest_host4",     "tenantId": "0",     "zone": "OID-00:00:00:00:00:00:82",     "zoneOrigin":"cisco2.com."   } ]</pre>
<b>CCMHost オブジェクトを名前で削除</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar CCMHost オブジェクトを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMHost/rest_host4?"zoneOrigin=cisco2.com.&viewId=2"

<b>CCMHost オブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMHost オブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMHost?"zoneOrigin=cisco2.com.&viewId=2"
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	[ {"objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:93"}, {"objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:94"} ]

## CCMSecondaryZone

セカンダリ DNS ゾーンを定義します。

<b>CCMSecondaryZone オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMSecondaryZone オブジェクトを作成します。	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMSecondaryZone
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	{ "origin": "secl.com.", "primaryServers": { "stringItem": [ "10.104.245.109" ] }, "tenantId": "0", "viewId": "0" }
<b>CCMSecondaryZone リストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMSecondaryZone オブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMSecondaryZone
ヘッダー :	Accept:application/json

応答本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:a1",     "description": "sec1",     "origin": "sec1.com.",     "primaryServers": {       "stringItem": [         "10.104.245.109"       ]     },     "tenantId": "0",     "viewId": "0"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:a2",     "origin": "sec2.com.",     "primaryServers": {       "stringItem": [         "10.104.245.109"       ]     },     "tenantId": "0",     "viewId": "0"   } ]</pre>
<p><b>CCMSecondaryZone オブジェクトを名前で取得</b></p> <p>Cisco Prime Network Registrar CCMSecondaryZone オブジェクトを名前で取得します。</p>	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMSecondaryZone/sec1.com.
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:a1",   "description": "sec1",   "origin": "sec1.com.",   "primaryServers": {     "stringItem": [       "10.104.245.109"     ]   },   "tenantId": "0",   "viewId": "0" }</pre>
<p><b>CCMSecondaryZone オブジェクトを名前で変更</b></p> <p>指定された Cisco Prime Network Registrar CCMSecondaryZone オブジェクトを変更または作成します。</p>	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMSecondaryZone/sec1.com.
ヘッダー :	Content-Type:application/json

要求本文：	<pre>{   "origin": "sec1.com.",   "primaryServers": {     "stringItem": [       "10.104.245.109"     ]   },   "tenantId": "0",   "viewId": "0",   "description": "sec1" }</pre>
<b>CCMSecondaryZone オブジェクトリストの変更</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMSecondaryZone オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式：	PUT
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMSecondaryZone
ヘッダー：	Content-Type:application/json
要求本文：	<pre>[   {     "origin": "sec2.com.",     "primaryServers": {       "stringItem": [         "10.104.245.109"       ]     },     "tenantId": "0",     "viewId": "0"   },   {     "origin": "sec3.com.",     "primaryServers": {       "stringItem": [         "10.104.245.109"       ]     },     "tenantId": "0",     "viewId": "0"   } ]</pre>
<b>CCMSecondaryZone オブジェクトを名前で削除</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar CCMSecondaryZone オブジェクトを削除します。	
方式：	DELETE
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMSecondaryZone/sec1.com.
<b>CCMSecondaryZone オブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMSecondaryZone オブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式：	DELETE
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMSecondaryZone
ヘッダー：	Content-Type:application/json

要求本文 :	[ {"objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:a1"}, {"objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:a2"} ]
--------	---

## CCMZoneTemplate

新しいプライマリ DNS ゾーンの作成に使用するテンプレートを定義します。

<b>CCMZoneTemplate オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMZoneTemplate オブジェクトを作成します。	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMZoneTemplate
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	{ "defttl": "10h", "expire": "1w", "minttl": "5m", "name": "rest_zt", "ns": "ns", "person": "mail1", "refresh": "2h", "retry": "1w", "serial": "1", "soattl": "24h", "tenantId": "0" }
<b>CCMZoneTemplate リストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMZoneTemplate オブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMZoneTemplate
ヘッダー :	Accept:application/json

応答本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:93",     "defttl": "1d16h",     "expire": "1w",     "minttl": "5m",     "name": "rest_zt",     "ns": "ns",     "person": "maill",     "refresh": "2h",     "retry": "1w",     "serial": "1",     "soattl": "24h",     "tenantId": "0"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:94",     "defttl": "1d16h",     "expire": "1w",     "minttl": "5m",     "name": "rest_zt1",     "ns": "ns",     "person": "maill",     "refresh": "2h",     "retry": "1w",     "serial": "1",     "soattl": "24h",     "tenantId": "0"   } ]</pre>
<b>CCMZoneTemplate オブジェクトを名前で取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMZoneTemplate オブジェクトを名前で取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMZoneTemplate/rest_zt
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:98",   "defttl": "10h",   "expire": "1w",   "minttl": "5m",   "name": "rest_zt",   "ns": "ns",   "person": "maill",   "refresh": "2h",   "retry": "1w",   "serial": "1",   "soattl": "24h",   "tenantId": "0" }</pre>
<b>CCMZoneTemplate オブジェクトを名前で変更</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar CCMZoneTemplate オブジェクトを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMZoneTemplate/rest_zt

ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:98",   "defttl": "20h",   "expire": "1w",   "minttl": "5m",   "name": "rest_zt",   "ns": "ns",   "person": "maill",   "refresh": "2h",   "retry": "1w",   "serial": "1",   "soattl": "24h",   "tenantId": "0" }</pre>
<b>CCMZoneTemplate オブジェクトリストの変更</b> <p>Cisco Prime Network Registrar CCMZoneTemplate オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。</p>	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMZoneTemplate
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:98",     "defttl": "40h",     "expire": "1w",     "minttl": "5m",     "name": "rest_zt",     "ns": "ns",     "person": "maill",     "refresh": "2h",     "retry": "1w",     "serial": "1",     "soattl": "24h",     "tenantId": "0"   },   {     "defttl": "40h",     "expire": "1w",     "minttl": "5m",     "name": "rest_zt1",     "ns": "ns",     "person": "maill",     "refresh": "2h",     "retry": "1w",     "serial": "1",     "soattl": "24h",     "tenantId": "0"   } ]</pre>
<b>CCMZoneTemplate オブジェクトを名前で削除</b> <p>指定された Cisco Prime Network Registrar CCMZoneTemplate オブジェクトを削除します。</p>	
方式 :	DELETE



エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMZoneTemplate/zt
<b>CCMZoneTemplate オブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMZoneTemplate オブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式:	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMZoneTemplate
ヘッダー:	Content-Type:application/json
要求本文:	[ {"objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:00:98"}, {"objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:00:99"} ]

## DnsView

DNS ビュー構成クラス。

<b>DnsView オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar DnsView オブジェクトを作成します。	
方式:	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsView
ヘッダー:	Content-Type:application/json
要求本文:	{ "aclMatchClients": "10.104.245.108", "name": "rest_internal", "priority": "1", "tenantId": "0", "viewId": "2" }
<b>DnsView リストを取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar DnsView オブジェクトのリストを取得します。	
方式:	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsView
ヘッダー:	Accept:application/json

応答本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:32",     "name": "Default",     "priority": "0",     "tenantId": "0",     "viewId": "0"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6d",     "aclMatchClients": "10.104.245.107",     "name": "rest_external",     "priority": "2",     "tenantId": "0",     "viewId": "3"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6e",     "aclMatchClients": "10.104.245.117",     "name": "rest_external_1",     "priority": "3",     "tenantId": "0",     "viewId": "4"   } ]</pre>
<b>DnsView オブジェクトを名前で取得</b> Cisco Prime Network Registrar DnsView オブジェクトを名前で取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsView/rest_external
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6d",   "aclMatchClients": "10.104.245.107",   "name": "rest_external",   "priority": "2",   "tenantId": "0",   "viewId": "3" }</pre>
<b>DnsView オブジェクトを名前で変更</b> 指定された Cisco Prime Network Registrar DnsView オブジェクトを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsView/rest_external
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "aclMatchClients": "10.104.245.117",   "name": "rest_external",   "priority": "2",   "tenantId": "0",   "viewId": "3" }</pre>

<b>DnsView オブジェクトリストの変更</b>	
Cisco Prime Network Registrar DnsView オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsView
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6d",     "aclMatchClients": "10.104.245.107",     "name": "rest_external",     "priority": "2",     "tenantId": "0",     "viewId": "3"   },   {     "aclMatchClients": "10.104.245.117",     "name": "rest_external_1",     "priority": "3",     "tenantId": "0",     "viewId": "4"   },   {     "aclMatchClients": "10.104.245.111",     "name": "rest_external_2",     "priority": "4",     "tenantId": "0",     "viewId": "5"   } ]</pre>
<b>DnsView オブジェクトを名前で削除</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar DnsView オブジェクトを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsView/rest_external_2
<b>DnsView オブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar DnsView オブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsView
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6e"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6b"   } ]</pre>

## DnsForwarder

複数の転送ゾーンが存在する場合があります。転送ゾーンでは、ネームサーバーのリストを使用してクエリを転送します。リストされているサーバーは、クエリのさらなる再帰を処理する必要があります。したがって、これらのサーバーは権限サーバーではありませんが、再帰サーバーでもあります。DNS キャッシュサーバーは、転送ゾーンの再帰自体を実行せず、リモートサーバーに実行させます。クラス IN が想定されます。名前が「。」でホストまたはアドレスターゲットを持つ転送ゾーンエントリは、すべてのクエリをその他のサーバーに転送します（キャッシュから応答できない場合）。

<b>DnsForwarder オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar DnsForwarder オブジェクトを作成します。	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsForwarder
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "addr": {     "DnsIPnPortItem": [       {         "addr": "10.104.245.212",         "port": "66"       }     ]   },   "name": ".",   "tls": "enabled",   "tlsAuthName": "cnr-cent72-4" }</pre>
<b>DnsForwarder リストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar DnsForwarder オブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsForwarder
ヘッダー :	Accept:application/json

応答本文：	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:8b",     "addr": {       "DnsIPnPortItem": [         {           "addr": "10.104.245.212",           "port": "66"         }       ]     },     "name": ".",     "tls": "enabled",     "tlsAuthName": "cnr-cent72-4"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:8d",     "addr": {       "DnsIPnPortItem": [         {           "addr": "10.104.245.220",           "port": "53"         }       ]     },     "name": "cisco.com.",     "tls": "enabled",     "tlsAuthName": "cnr-cent72-4"   } ]</pre>
-------	--

**DnsForwarder オブジェクトを名前で取得**

Cisco Prime Network Registrar DnsForwarder オブジェクトを名前で取得します。

方式：	GET
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsForwarder/cisco.com.
ヘッダー：	Accept:application/json

応答本文：	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:8d",   "addr": {     "DnsIPnPortItem": [       {         "addr": "10.104.245.220",         "port": "53"       }     ]   },   "name": "cisco.com.",   "tls": "enabled",   "tlsAuthName": "cnr-cent72-4" }</pre>
-------	---

**DnsForwarder オブジェクトを名前で変更**

指定された Cisco Prime Network Registrar DnsForwarder オブジェクトを変更または作成します。

方式：	PUT
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsForwarder/cisco.com.

ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "addr": {     "DnsIPnPortItem": [       {         "addr": "10.104.245.220",         "port": "53"       }     ]   },   "name": "cisco.com",   "tls": "enabled",   "tlsAuthName": "cnr-cent72-4" }</pre>
<b>DnsForwarder オブジェクトリストの変更</b>	
Cisco Prime Network Registrar DnsForwarder オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsForwarder
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>[   {     "objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:00:8d",     "addr": {       "DnsIPnPortItem": [         {           "addr": "10.104.245.220",           "port": "853"         }       ]     },     "name": "cisco.com",     "tls": "enabled",     "tlsAuthName": "cnr-cent72-4"   },   {     "objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:00:8b",     "addr": {       "DnsIPnPortItem": [         {           "addr": "10.104.245.220",           "port": "853"         }       ]     },     "name": ".",     "tls": "enabled",     "tlsAuthName": "cnr-cent72-4"   } ]</pre>
<b>DnsForwarder オブジェクトを名前で削除</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar DnsForwarder オブジェクトを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsForwarder/cisco.com.

<b>DnsForwarder オブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar DnsForwarder オブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsForwarder
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:7f",     "viewId": "3"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:81",     "viewId": "2"   } ]</pre>

## DnsException

解決の例外は、パブリック インターネット サーバーを使用してアクセスできないリゾルバによって使用される信頼できるデータを構成するために使用できます。

<b>DnsException オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar DnsException オブジェクトを作成します。	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsException
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "addr": {     "DnsIPnPortItem": [       {         "addr": "10.104.245.212",         "port": "66"       }     ]   },   "name": "rest_zone1.com.",   "tls": "enabled",   "tlsAuthName": "cnr-cent72-4" }</pre>
<b>DnsException リストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar DnsException オブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsException
ヘッダー :	Accept:application/json

応答本文：	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:8f",     "addr": {       "DnsIPnPortItem": [         {           "addr": "10.104.245.212",           "port": "853"         }       ]     },     "name": "rest_zone1.com.",     "tls": "enabled",     "tlsAuthName": "cnr-cent72-4"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:91",     "addr": {       "DnsIPnPortItem": [         {           "addr": "10.104.245.212",           "port": "853"         }       ]     },     "name": "rest_zone2.com.",     "tls": "enabled",     "tlsAuthName": "cnr-cent72-4"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:90",     "addr": {       "DnsIPnPortItem": [         {           "addr": "10.104.245.212",           "port": "853"         }       ]     },     "name": "rest_zone3.com.",     "tls": "enabled",     "tlsAuthName": "cnr-cent72-4"   } ]</pre>
<b>DnsException オブジェクトを名前で取得</b> Cisco Prime Network Registrar DnsException オブジェクトを名前で取得します。	
方式：	GET
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsException/rest_zone1.com.
ヘッダー：	Accept:application/json



応答本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:8f",   "addr": {     "DnsIPnPortItem": [       {         "addr": "10.104.245.212",         "port": "853"       }     ]   },   "name": "rest_zone1.com.",   "tls": "enabled",   "tlsAuthName": "cnr-cent72-4" }</pre>
<b>DnsException オブジェクトを名前を変更</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar DnsException オブジェクトを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsException/rest_zone1.com.
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:8f",   "addr": {     "DnsIPnPortItem": [       {         "addr": "10.104.245.212",         "port": "853"       }     ]   },   "name": "rest_zone1.com.",   "tls": "enabled",   "tlsAuthName": "cnr-cent72-4" }</pre>
<b>DnsException オブジェクトリストの変更</b>	
Cisco Prime Network Registrar DnsException オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsException
ヘッダー :	Content-Type:application/json

要求本文 :	<pre>[   {     "addr": {       "DnsIPnPortItem": [         {           "addr": "10.104.245.212",           "port": "853"         }       ]     },     "name": "rest_zone3.com.",     "tls": "enabled",     "tlsAuthName": "cnr-cent72-4"   },   {     "addr": {       "DnsIPnPortItem": [         {           "addr": "10.104.245.212",           "port": "853"         }       ]     },     "name": "rest_zone2.com.",     "tls": "enabled",     "tlsAuthName": "cnr-cent72-4"   } ]</pre>
<b>DnsException オブジェクトを名前で削除</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar DnsException オブジェクトを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsException/rest_zone1.com.
<b>DnsException オブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar DnsException オブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DnsException
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>[   {     "objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:00:90"   },   {     "objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:00:91"   } ]</pre>

## CdnsRedirect

DNS ファイアウォールルールを定義します。

<b>CdnsRedirect オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar CdnsRedirect オブジェクトを作成します。	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CdnsRedirect
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "action": "rpz",   "domains": {     "stringItem": [       "test.com."     ]   },   "name": "rest_rule1",   "rpzServerAddr": {     "DnsIPnPortItem": [       {         "addr": "1.1.1.1"       }     ]   },   "rpzTls": "true",   "rpzTrigger": "query-name",   "rpzZoneName": "test.com." }</pre>
<b>CdnsRedirect リストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CdnsRedirect オブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CdnsRedirect
ヘッダー :	Accept:application/json

応答本文：	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:92",     "aResponse": "1.1.1.1",     "action": "redirect",     "domains": {       "stringItem": [         "test.com."       ]     },     "name": "rest_rull1",     "rpzServerAdrs": {       "DnsIPnPortItem": [         {           "addr": "1.1.1.1"         }       ]     },     "rpzTls": "true",     "rpzTrigger": "query-name",     "rpzZoneName": "test.com."   }, ]</pre>
	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:96",   "action": "refuse",   "domains": {     "stringItem": [       "test.com."     ]   },   "name": "rest_rule3" }, {   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:97",   "aResponse": "1.1.1.1",   "action": "redirect",   "domains": {     "stringItem": [       "test.com."     ]   },   "name": "rest_rule4" } ]</pre>
<p><b>CdnsRedirect オブジェクトを名前で取得</b></p>	
<p>Cisco Prime Network Registrar CdnsRedirect オブジェクトを名前で取得します。</p>	
方式：	GET
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CdnsRedirect/rest_rule1
ヘッダー：	Accept:application/json

応答本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:94",   "action": "rpz",   "domains": {     "stringItem": [       "test.com."     ]   },   "name": "rest_rule1",   "rpzServerAddrs": {     "DnsIPnPortItem": [       {         "addr": "1.1.1.1"       }     ]   },   "rpzTls": "true",   "rpzTrigger": "query-name",   "rpzZoneName": "test.com." }</pre>
<p><b>CdnsRedirect オブジェクトを名前で変更</b></p> <p>指定された Cisco Prime Network Registrar CdnsRedirect オブジェクトを変更または作成します。</p>	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CdnsRedirect/rest_rule2
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "action": "drop",   "name": "rest_rule2",   "action": "drop", "domains": {"stringItem": ["test.com."]} }</pre>
<p><b>CdnsRedirect オブジェクトリストの変更</b></p> <p>Cisco Prime Network Registrar CdnsRedirect オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。</p>	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CdnsRedirect
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>[   {     "action": "refuse",     "name": "rest_rule3",     "domains": {"stringItem": ["test.com."]}   },   {     "action": "redirect",     "name": "rest_rule4",     "domains": {"stringItem": ["test.com."]},     "aResponse": "1.1.1.1"   } ]</pre>

<b>CdnsRedirect オブジェクトを名前で削除</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar CdnsRedirect オブジェクトを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CdnsRedirect/rest_rule1
<b>CdnsRedirect オブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar CdnsRedirect オブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CdnsRedirect
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:95"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:96"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:97"   } ]</pre>

## CCMCluster

サーバークラスタを定義します。CCMCluster オブジェクトには、IP アドレス、ポート、管理者、パスワードなどのリモート接続情報を含む、クラスタに関連付けられた構成データが含まれています。

<b>CCMCluster オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMCluster オブジェクトを作成します。	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMCluster
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "httpsPort": "8443",   "ipaddr": "10.104.245.117",   "licensedServices": "dhcp,dns",   "name": "backup",   "scpPort": "1234",   "tenantId": "0",   "useHttpsPort": "true",   "useSsl": "required",   "admin": "admin",   "password": "changeme" }</pre>

<b>CCMCluster リストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMCluster オブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMCluster
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:a5",     "admin": "admin",     "clusterId": "4",     "httpsPort": "8443",     "ipaddr": "10.104.245.117",     "licensedServices": "dns",     "name": "backup",     "passwordSecret": "00:00:00:00:00:00:00:a4",     "scpPort": "1234",     "tenantId": "0",     "useHttpsPort": "true",     "useSsl": "required"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:05",     "clusterId": "1",     "httpsPort": "8443",     "ipaddr": "10.104.245.211",     "licensedServices": "dhcp,dns",     "name": "localhost",     "productVersion": "11.1.0",     "remoteId": "1",     "scpPort": "1234",     "sharedSecret": "00:00:00:00:00:00:00:4d",     "tenantId": "0",     "useHttpsPort": "true",     "useSsl": "required"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:44",     "clusterId": "2",     "ipaddr": "10.104.245.108",     "name": "regional-629e15a0-e9e6-49b1-b97d-7fe280252f61",     "remoteId": "2",     "scpPort": "1244",     "sharedSecret": "00:00:00:00:00:00:00:60",     "tenantId": "0"   } ]</pre>
<b>CCMCluster オブジェクトを名前で取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMCluster オブジェクトを名前で取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMCluster/backup

ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:a5",   "admin": "admin",   "clusterId": "4",   "httpsPort": "8443",   "ipaddr": "10.104.245.117",   "licensedServices": "dhcp,dns",   "name": "backup",   "passwordSecret": "00:00:00:00:00:00:00:a4",   "scpPort": "1234",   "tenantId": "0",   "useHttpsPort": "true",   "useSsl": "required" }</pre>
<b>CCMCluster オブジェクトを名前を変更</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar CCMCluster オブジェクトを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMCluster/backup
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:a5",   "admin": "admin",   "clusterId": "4",   "httpsPort": "8443",   "ipaddr": "10.104.245.117",   "licensedServices": "dhcp",   "name": "backup",   "passwordSecret": "00:00:00:00:00:00:00:a4",   "scpPort": "1234",   "tenantId": "0",   "useHttpsPort": "true",   "useSsl": "required" }</pre>
<b>CCMCluster オブジェクトリストの変更</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMCluster オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMCluster
ヘッダー :	Content-Type:application/json



<p>要求本文 :</p>	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:a5",     "admin": "admin",     "clusterId": "4",     "httpsPort": "8443",     "ipaddr": "10.104.245.117",     "licensedServices": "dns",     "name": "backup",     "passwordSecret": "00:00:00:00:00:00:00:a4",     "scpPort": "1234",     "tenantId": "0",     "useHttpsPort": "true",     "useSsl": "required"   },   {     "admin": "admin",     "httpsPort": "8443",     "ipaddr": "1.1.1.1",     "licensedServices": "dns",     "name": "rest_cluster1",     "password": "changeme",     "scpPort": "1234",     "tenantId": "0",     "useHttpsPort": "true",     "useSsl": "required"   },   {     "admin": "admin",     "httpsPort": "8443",     "ipaddr": "2.2.2.1",     "licensedServices": "dns",     "name": "rest_cluster2",     "password": "changeme",     "scpPort": "1234",     "tenantId": "0",     "useHttpsPort": "true",     "useSsl": "required"   } ]</pre>
<p><b>CCMCluster オブジェクトを名前で削除</b></p> <p>指定された Cisco Prime Network Registrar CCMCluster オブジェクトを削除します。</p>	
<p>方式 :</p>	<p>DELETE</p>
<p>エンドポイント:</p>	<p>https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMCluster/backup</p>
<p><b>CCMCluster オブジェクトリストの削除</b></p> <p>Cisco Prime Network Registrar CCMCluster オブジェクトの指定されたリストを削除します。</p>	
<p>方式 :</p>	<p>DELETE</p>
<p>エンドポイント:</p>	<p>https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMCluster</p>
<p>ヘッダー :</p>	<p>Content-Type:application/json</p>
<p>要求本文 :</p>	<pre>[   {"objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:00:a9"},   {"objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:00:aa"} ]</pre>

## CCMFailoverPair

DHCP フェールオーバーペアを定義します。

<b>CCMFailoverPair オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMFailoverPair オブジェクトを作成します。	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMFailoverPair
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:00:65",   "main": "OID-00:00:00:00:00:00:00:5b",   "name": "fo_chn_hyd",   "tenantId": "0" }</pre>
<b>CCMFailoverPair リストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMFailoverPair オブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMFailoverPair
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>[   {     "objectOid": "OID-00:00:00:00:00:00:00:7d",     "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:00:65",     "main": "OID-00:00:00:00:00:00:00:5b",     "mclt": "10m",     "name": "fo_chn_hyd",     "tenantId": "0"   },   {     "objectOid": "OID-00:00:00:00:00:00:00:7e",     "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:00:51",     "main": "OID-00:00:00:00:00:00:00:4e",     "name": "fo_ngpr_luknw",     "tenantId": "0"   } ]</pre>
<b>CCMFailoverPair オブジェクトを名前で取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMFailoverPair オブジェクトを名前で取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMFailoverPair/fo_chn_hyd
ヘッダー :	Accept:application/json

応答本文：	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:7d",   "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:00:65",   "main": "OID-00:00:00:00:00:00:00:5b",   "name": "fo_chn_hyd",   "tenantId": "0" }</pre>
<b>CCMFailoverPair オブジェクトを名前を変更</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar CCMFailoverPair オブジェクトを変更または作成します。	
方式：	PUT
エンドポイント：	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMFailoverPair/fo_chn_hyd
ヘッダー：	Content-Type:application/json
要求本文：	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:7d",   "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:00:65",   "main": "OID-00:00:00:00:00:00:00:5b",   "name": "fo_chn_hyd",   "tenantId": "0",   "mclt": "30m" }</pre>
<b>CCMFailoverPair オブジェクトリストの変更</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMFailoverPair オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式：	PUT
エンドポイント：	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMFailoverPair
ヘッダー：	Content-Type:application/json
要求本文：	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:7d",     "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:00:65",     "main": "OID-00:00:00:00:00:00:00:5b",     "name": "fo_chn_hyd",     "tenantId": "0",     "mclt": "10m"   },   {     "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:00:51",     "main": "OID-00:00:00:00:00:00:00:4e",     "name": "fo_ngpr_luknw",     "tenantId": "0",     "load-balancing": "true"   } ]</pre>
<b>CCMFailoverPair オブジェクトを名前を変更 (同期)</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar CCMFailoverPair オブジェクトを変更または作成します。	
方式：	PUT

エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMFailoverPair/fo_chn_hyd?"action=sync&mode=update&direction=from-backup"
ヘッダー:	Content-Type:application/json
要求本文:	<pre>{   "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:00:65",   "main": "OID-00:00:00:00:00:00:00:5b",   "name": "fo_chn_hyd",   "tenantId": "0",   "mclt": "30m" }</pre>
<b>CCMFailoverPair オブジェクトを名前で削除</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar CCMFailoverPair オブジェクトを削除します。	
方式:	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMFailoverPair/fo_chn_hyd
<b>CCMFailoverPair オブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMFailoverPair オブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式:	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMFailoverPair
ヘッダー:	Content-Type:application/json
要求本文:	<pre>[   {"objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:7d"},   {"objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:7e"} ]</pre>

## CCMHaDnsPair

高可用性 (HA) DNS ペア。

<b>CCMHaDnsPair オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMHaDnsPair オブジェクトを作成します。	
方式:	POST
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMHaDnsPair
ヘッダー:	Content-Type:application/json
要求本文:	<pre>{   "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:00:65",   "main": "OID-00:00:00:00:00:00:00:5b",   "name": "ha_chn_hyd",   "tenantId": "0" }</pre>

<b>CCMHaDnsPair リストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMHaDnsPair オブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMHaDnsPair
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	[ <pre>           {             "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:82",             "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:00:65",             "main": "OID-00:00:00:00:00:00:00:5b",             "name": "ha_chn_hyd",             "tenantId": "0"           },           {             "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:83",             "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:00:51",             "main": "OID-00:00:00:00:00:00:00:4e",             "name": "ha_ngpr_lucknw",             "tenantId": "0"           }         ]</pre>
<b>CCMHaDnsPair オブジェクトを名前で取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMHaDnsPair オブジェクトを名前で取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMHaDnsPair/ha_chn_hyd
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	{ <pre>           "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:82",           "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:00:65",           "main": "OID-00:00:00:00:00:00:00:5b",           "name": "ha_chn_hyd",           "tenantId": "0"         }</pre>
<b>CCMHaDnsPair オブジェクトを名前で変更</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar CCMHaDnsPair オブジェクトを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMHaDnsPair/ha_chn_hyd
ヘッダー :	Content-Type:application/json

要求本文 :	{ "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:82", "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:65", "main": "OID-00:00:00:00:00:00:5b", "name": "ha_chn_hyd", "tenantId": "0", "haDnsMainAddress": "10.104.245.211", "haDnsBackupAddress": "10.104.245.212" }
<b>CCMHaDnsPair オブジェクトリストの変更</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMHaDnsPair オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMHaDnsPair
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	[ { "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:82", "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:65", "main": "OID-00:00:00:00:00:00:5b", "name": "ha_chn_hyd", "tenantId": "0" }, { "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:51", "main": "OID-00:00:00:00:00:00:4e", "name": "ha_ngpr_lucknw", "tenantId": "0" } ]
<b>CCMHaDnsPair オブジェクトを名前で削除</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar CCMHaDnsPair オブジェクトを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMHaDnsPair/ha_chn_hyd
<b>CCMHaDnsPair オブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMHaDnsPair オブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMHaDnsPair
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	[ {"objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:82"}, {"objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:83"} ]

## CCMZoneDistribution

一連のプライマリゾーンの分散マップを定義します。

<b>CCMZoneDistribution オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMZoneDistribution オブジェクトを作成します。	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMZoneDistribution
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "name": "zd_ngpr_lucknw",   "primary": "OID-00:00:00:00:00:00:00:86",   "primaryServers": {     "stringItem": [       "10.104.245.130",       "10.104.245.117"     ]   },   "tenantId": "0" }</pre>
<b>CCMZoneDistribution リストの取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMZoneDistribution オブジェクトのリストを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMZoneDistribution
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>[   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:39",     "name": "Default",     "primary": "OID-00:00:00:00:00:00:00:85",     "tenantId": "0"   },   {     "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:8d",     "name": "zd_ngpr_lucknw",     "primary": "OID-00:00:00:00:00:00:00:86",     "primaryServers": {       "stringItem": [         "10.104.245.130",         "10.104.245.117"       ]     },     "tenantId": "0"   } ]</pre>

<b>CCMZoneDistribution オブジェクトを名前で取得</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMZoneDistribution オブジェクトを名前で取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMZoneDistribution/zd_ngpr_lucknw
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:8d",   "name": "zd_ngpr_lucknw",   "primary": "OID-00:00:00:00:00:00:86",   "primaryServers": {     "stringItem": [       "10.104.245.130",       "10.104.245.117"     ]   },   "tenantId": "0" }</pre>
<b>CCMZoneDistribution オブジェクトを名前で変更</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar CCMZoneDistribution オブジェクトを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/CCMZoneDistribution/Default
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:39",   "name": "Default",   "primary": "OID-00:00:00:00:00:00:85",   "primaryServers": {     "stringItem": [       "10.104.245.211",       "10.104.245.212"     ]   },   "tenantId": "0" }</pre>
<b>CCMZoneDistribution オブジェクトリストの変更</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMZoneDistribution オブジェクトの指定されたリストを変更または作成します。	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMZoneDistribution
ヘッダー :	Content-Type:application/json



## 特殊な関数

要求本文：	[ <pre> {   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:39",   "name": "Default",   "primary": "OID-00:00:00:00:00:00:00:85",   "primaryServers": {     "stringItem": [       "10.104.245.211",       "10.104.245.212"     ]   } }, "tenantId": "0" }, {   "name": "zd_ngpr_lucknw",   "primary": "OID-00:00:00:00:00:00:00:86",   "primaryServers": {     "stringItem": [       "10.104.245.130",       "10.104.245.117"     ]   } }, "tenantId": "0" } ] </pre>
<b>CCMZoneDistribution オブジェクトを名前で削除</b>	
指定された Cisco Prime Network Registrar CCMZoneDistribution オブジェクトを削除します。	
方式：	DELETE
エンドポイント：	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMZoneDistribution/zd_ngpr_lucknw
<b>CCMZoneDistribution オブジェクトリストの削除</b>	
Cisco Prime Network Registrar CCMZoneDistribution オブジェクトの指定されたリストを削除します。	
方式：	DELETE
エンドポイント：	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMZoneDistribution
ヘッダー：	Content-Type:application/json
要求本文：	[ <pre> {"objectId":"OID-00:00:00:00:00:00:00:8e"} ] </pre>

## 特殊な関数

「getNextAddress」などの特別な操作や、「サーバーのリロード」などの基本アクションには、指定されたクラスのカスタムロジックが必要です。これらは「アクション」パラメータによって識別され、入力パラメータを指定する特定のキーワードによってさらに修飾される場合があります。特定のキーワードに使用できる省略形は、括弧内に示されています。通常、デフォルト値はすべての入力パラメータに適用され、無効な組み合わせは、問題を説明するエラーメッセージとともに「不正な要求」エラーを返します。たとえば、Scope クラスに対して「reloadServer」アクションが要求された場合、これは不正な要求として拒否され、そのクラスではアクションがサポートされていないことを示すエラーメッセージが表示されます。

## reloadServer (リロード)

**PUT /web-services/rest/resource/serverClassName?action=reloadServer**

**Accept: application/xml, application/json**

reloadServer アクションは、DHCP Server、DNSServer、および DNS Caching Server クラスでサポートされています。このアクションには、追加のパラメータは適用されません。データ入力指定されていない場合、指定されたサーバーが再ロードされます。それ以外の場合は、reload コマンドを発行する前にサーバーオブジェクトが変更されます。

例：

DNSServer オブジェクトの取得	
方式：	GET
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DNSServer
ヘッダー：	Content-Type:application/json
応答本文：	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:07",   "activityCounterLogSettings":     "performance,query,errors,maxcounters,system,cache,update",   "name": "DNS" }</pre>
DNSServer オブジェクトを名前を変更	
方式：	PUT
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/DNSServer?action=reloadServer
ヘッダー：	Content-Type:application/json
要求本文：	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:07",   "activityCounterLogSettings":     "performance,query,errors,maxcounters,system,cache,update",   "minimalResponses" : "true",   "name": "DNS" }</pre>

## runSync (同期)

**PUT /web-services/rest/resource/syncClassName/objectName?action=runSync**

**Accept: application/xml, application/json**

runSync アクションは、CCMFailoverPair、CCMHaDnsPair、および CCMZoneDistribution クラスでサポートされています。データ入力指定されていない場合、指定されたオブジェクトが同期されます。それ以外の場合、同期を実行する前に入力オブジェクトが変更されます。デフォルトでは、同期は完全モードで実行されます。mode パラメータを使用して、更新モードまたは完全一致モードを指定できます。DHCP フェールオーバーと DNS HA ペアの同期の場合、デフォルトの同期方向はメインからです。方向パラメータを使用して、バックアップからの同期を指定できます。

## 特殊な関数

<b>CCMFailoverPair オブジェクトを名前で変更</b>	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMFailoverPair/fo_chn_hyd?"action=sync&mode=update&direction=from-backup"
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:00:65",   "main": "OID-00:00:00:00:00:00:00:5b",   "name": "fo_chn_hyd",   "tenantId": "0",   "mclt": "30m" }</pre>
<b>CCMHaDnsPair オブジェクトを名前で変更</b>	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMHaDnsPair/ha_chn_hyd?"action=sync&mode=exact&direction=from-backup"
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:00:57",   "main": "OID-00:00:00:00:00:00:00:05",   "name": "ha_chn_hyd",   "tenantId": "0",   "haDnsMainAddress": "10.104.245.211",   "haDnsBackupAddress": "10.104.245.212" }</pre>
<b>CCMZoneDistribution オブジェクトを名前で変更</b>	
方式 :	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMZoneDistribution/zd_ngpr_lucknw?"action=sync&mode=exact"
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	<pre>{   "name": "zd_ngpr_lucknw",   "primary": "OID-00:00:00:00:00:00:00:86",   "primaryServers": {     "stringItem": [       "10.104.245.130",       "10.104.245.117"     ]   },   "tenantId": "0" }</pre>

## クラスタの同期

クラスタオブジェクトの同期アクションのサポートが追加されました。このアクションは、管理者のログイン情報またはライセンスされたサービスが変更されるたびに必要です。このアクションは、リージョナルクラスタでのみ使用できます。

CCMCluster オブジェクトを名前を変更	
方式:	PUT
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMCluster/ <i>clustername</i> ?action=sync
ヘッダー:	Content-Type:application/json
要求本文:	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:54",   "admin": "admin",   "clusterId": "2",   "httpsPort": "8443",   "ip6Address": "::",   "ipaddr": "10.104.245.211",   "licensedServices": "dhcp,dns",   "name": "cnr-cent72-3",   "passwordSecret": "00:00:00:00:00:00:88",   "productVersion": "11.1.0",   "remoteId": "2",   "replicationInitialized": "true",   "scpPort": "1234",   "sharedSecret": "00:00:00:00:00:00:ae",   "tenantId": "0",   "useHttpsPort": "true",   "useSsl": "required" }</pre>

## pushToLocal (プッシュ)

**PUT /web-services/rest/resource/*className*?action=pushToLocal&localCluster=*clusterName***

**Accept: application/xml、application/json**

**PUT /web-services/rest/resource/*className/objectName*?action=pushToLocal&localCluster=*clusterName***

**Accept: application/xml、application/json**

pushToLocal アクションは、対応するリージョナルおよびローカルストレージを持つすべてのリストクラスのリージョナルサーバーでサポートされています。子クラスは独立したプッシュをサポートしていないことに注意してください。これらは、親オブジェクト（つまり、ゾーン、サブネット、またはプレフィックス）がプッシュされた場合にのみプッシュされます。データ入力が指定されていない場合、現在のリージョナルリストまたは指定されたオブジェクトが指定されたローカルクラスタにプッシュされます。それ以外の場合、入力オブジェクトは必要に応じてリージョナルで変更され、ローカルクラスタにプッシュされます。デフォルトでは、プッシュは置換モードで実行されます。mode パラメータを使用して、保証モードまたは完全一致モードを指定できます。ただし、完全一致モードは、オブジェクトのリストをプッシュする場合にのみ使用できます。localCluster (クラスタ) パラメータは、少なくとも 1 つの宛先サーバーを指定する必要があります。

## 特殊な関数

例：

<b>pushToLocal</b>	
方式：	PUT
エンドポイント：	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMScopeTemplate? "action=pushToLocal&localCluster={server1,server2}&mode=exact"
ヘッダー：	Content-Type:application/json
要求本文：	[ { "name": "Rest_Scope_template_1", "policy": "default", "rangesExpr": "(create-range 1 10)", "scopeName": "(concat \"ISP-\" subnet)", "tenantId": "0" } ]
応答本文：	[1/2]: https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMScopeTemplate?action=pushToLocal&localCluster=server1&mode=exact --> <stdout> --_curl_--https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMScopeTemplate?action=pushToLocal&localCluster=server1&mode=exact  [2/2]: https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMScopeTemplate?action=pushToLocal&localCluster=server2&mode=exact --> <stdout> --_curl_--https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMScopeTemplate?action=pushToLocal&localCluster=server2&mode=exact

## applyTemplate

REST API を使用して、スコープ、ゾーン、プレフィックス、およびリンクにテンプレートを適用できます。これらは、applyTemplate アクションを使用して、新規または既存の構成オブジェクトに適用できます。また、他のタイプの構成オブジェクトに一般的なテンプレートのサポートが追加されています。詳細については、『Cisco Prime Network Registrar 11.1 REST APIs Reference Guide』を参照してください。

<b>既存のゾーンを使用してテンプレートを適用</b>	
方式：	POST
エンドポイント：	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMZone?"action=applyTemplate&template=rest_zone1.com."
ヘッダー：	Content-Type:application/json
要求本文：	{ "origin": "rest_zone2.com." }
<b>スコープテンプレートを使用してテンプレートを適用</b>	
方式：	PUT
エンドポイント：	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/Scope/rest_scope_2?"action=applyTemplate&scopeTemplate=rest_st"

## 特殊な関数

ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	{ "name": "rest_scope_2", "subnet": "2.0.0.0/24" }

## getLocalServer

**GET /web-services/rest/resource/syncClassName/LocalServer?searchParam=value**

**Content-Type: application/xml、 application/json**

リージョナルクラスタで getLocalServer アクションを使用して、特定のアドレス、スコープ、プレフィックス、FQDN、またはプライマリゾーンのローカルクラスタまたはペアを識別できます。CCMCluster、CCMFailoverPair、CCMHaDnsPair、および CCMZoneDistribution クラスでサポートされています。要求されたクラスタがペアの一部である場合、メインクラスタが返されます。親クラスタが要求されたペアまたはゾーン分散の一部でない場合、または親クラスタが見つからない場合は、「見つかりません」エラーが返されます。

この要求は GET アクションであるため、予約済みリソース「LocalServer」を使用して、アクションパラメータの代わりにアクションを指定します。検索パラメータが指定されていない場合、要求は getObjectByName 要求として解釈されます。

サポートされている検索パラメータキーワードのセットは次のとおりです。

キーワード	値
address	IP v4 または v6 アドレスまたはサブネット
vpnId	VPN 内のアドレスの VPN 識別子
scope	スコープ名
prefix	プレフィックス名
link	リンク名
fqdn	ゾーンまたは RR 名
viewID	ビュー内のゾーンまたは FQDN のビュー識別子

指定されたキーワードが要求されたクラスに対して有効でない場合、「不正な要求」エラーが返されます。

例 :

CCMCluster を使用してローカルサーバーを取得 (アドレスによる)	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMCluster/LocalServer?address=20.0.0.0
ヘッダー :	Accept:application/json

## 特殊な関数

<b>CCMCluster を使用してローカルサーバーを取得 (スコープによる)</b>	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMCluster/LocalServer?scope=ISP-10.0.0.0-24
ヘッダー :	Accept:application/json
<b>CCMCluster を使用してローカルサーバーを取得 (プレフィックスによる)</b>	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMCluster/LocalServer?prefix=p2
ヘッダー :	Accept:application/json
<b>CCMCluster を使用してローカルサーバーを取得 (FQDN による)</b>	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMCluster/LocalServer?fqdn=zone10.com.
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 (上記のすべての操作の場合) :	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6b",   "admin": "admin",   "clusterId": "4",   "httpsPort": "8443",   "ip6Address": "2001:420:54ff:13::403:37",   "ipaddr": "10.104.245.117",   "licensedServices": "dhcp,dns",   "name": "cnr-rhel81-2",   "passwordSecret": "00:00:00:00:00:00:00:6a",   "productVersion": "11.1.0",   "remoteId": "2",   "replicationInitialized": "true",   "scpPort": "1234",   "sharedSecret": "00:00:00:00:00:00:00:9e",   "tenantId": "0",   "useHttpsPort": "true",   "useSsl": "required" }</pre>
<b>CCMFailoverPair を使用してローカルサーバーを取得 (アドレスによる)</b>	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMFailoverPair/LocalServer?address=10.0.0.0
ヘッダー :	Accept:application/json

## 高度な API

応答本文：	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:8b",   "backup": "OID-00:00:00:00:00:00:00:75",   "main": "OID-00:00:00:00:00:00:00:6b",   "name": "pair2",   "scopetemplate": "OID-00:00:00:00:00:00:00:86",   "tenantId": "0" }</pre>
<b>CCMZoneDistribution を使用してローカルサーバーを取得 (FQDN による)</b>	
方式：	GET
エンドポイント：	https://localhost:8453/web-services/rest/resource/CCMZoneDistribution/LocalServer?fqdn=zone1.com.
ヘッダー：	Accept:application/json
応答本文：	<pre>{   "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:8e",   "name": "zd_1",   "primary": "OID-00:00:00:00:00:00:00:89",   "primaryServers": {     "stringItem": [       "10.104.245.211",       "10.104.245.212"     ]   },   "tenantId": "0" }</pre>

## 高度な API

次に、Cisco Prime Network Registrar の高度な API の一部を示します。

## リースアクション

REST API を使用して、リースをアクティブ化または非アクティブ化できます。v4 および v6 リースは、それぞれ非アクティブ化、アクティブ化、および forceAvailable アクションを使用してアクティブ化、非アクティブ化、および強制的に使用可能にすることができます。v6 リースは、再構成アクションを使用して強制的に使用可能にすることもできます。

例：

## getNextAddress

**POST /web-services/rest/resource/addressClassName?action=getNextAddress&param=value**

getNextAddress アクションは、Reservation、Lease、Reservation6、および Lease6 クラスでサポートされます。アクションはクラスリソースに対して有効であり、クライアント識別子と、名前による特定のスコープ/プレフィックス、または親サブネット/プレフィックスアドレスと vpnId (該当する場合) を指定する必要があります。特定のスコープまたはプレフィックスが指定されていない場合、特定のアドレスタイプを対象とするために clientClass パラメータがサポートされます。

prefixLength パラメータは、PD プレフィックスにも使用できます。



## 高度な API

指定されたスコープまたはプレフィックス名が見つからない場合は、「見つかりません」エラーと EX\_REF\_NOTFOUND エラーコードが返されます。指定された親アドレスまたはクライアントクラスに対して適切なアドレス範囲が構成されていない場合、「見つかりません」エラーと AX\_DHCP\_NO\_CONFIGURED\_RANGE エラーコードが返されます。構成されていても、使用できるアドレスがない場合、「サーバー」エラーと使用可能なアドレスがないことを示す AX\_DHCP\_NO\_MORE\_ADDRESSES エラーコードが返されます。意味的に不適切な入力パラメータは、AX\_SCP\_INVALID\_REQUEST を報告します。

DHCP サーバーがアドレスを見つけると、対応する Lease、Reservation、Lease6、または Reservation6 オブジェクトの場所が返されます。リースのリース時間は、使用されるポリシーのデフォルト値です。フェールオーバーが採用されている場合、最初のリース時間は常に MCLT（通常は 1 時間）であることに注意してください。予約が割り当てられると、CCM データベースに保持されます。フェールオーバーが構成されている場合、パートナーサーバーが実行されていて到達可能であれば、予約がパートナーに追加されます。パートナーの更新が失敗した場合、クライアントは更新を再試行するか、フェールオーバー同期を実行して、両方のサーバーで予約が構成されていることを確認する必要があります。

サポートされているパラメータキーワードのセットは次のとおりです。

キーワード	値
clientId	クライアント 識別子または v6 duid
parentAddress (アドレス)	IP v4 サブネットまたは v6 プレフィックス/リンクアドレス
vpnId	VPN 内のアドレスの VPN 識別子
clientClass	このアドレスのクライアントクラス
hostName (ホスト)	このアドレスのホスト名
domainName (ドメイン)	このアドレスのホスト名のドメイン名
scopeName (スコープ)	スコープ名
prefixName (プレフィックス)	プレフィックス名
prefixLength (長さ)	PD プレフィックスの場合、割り当てられる長さ、またはサーバーが長さを決定する必要がある場合は 0。

指定されたキーワードが要求されたクラスに対して有効でない場合、「不正な要求」エラーが返されます。

POST パラメータは、フォームで送信するか、要求で指定できることに注意してください。

例：

Lease オブジェクトの作成	
Cisco Prime Network Registrar Lease オブジェクトを作成します。	
方式：	POST
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Lease?"clientId=1,6,01:01:01:01:01:01&scope=ISP-1.0.0.0-24"

ヘッダー :	Accept: application/x-www-form-urlencoded
応答ヘッダー :	Location: https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Lease/1.0.0.1
<b>次に利用可能な Lease オブジェクトの取得</b>	
次に利用可能なアドレスで Network Registrar Lease オブジェクトを作成します。	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Lease? "clientId=1,6,01:01:01:01:01:05&address=1.0.0.0&hostName=test&domainName=zone.com."
ヘッダー :	Accept: application/x-www-form-urlencoded
<b>Lease6 オブジェクトの作成</b>	
Cisco Prime Network Registrar Lease6 オブジェクトを作成します。	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Lease6?"clientId=00:01:00:03:02:02:02:02:02&address=1001::"
ヘッダー :	Accept: application/x-www-form-urlencoded
応答ヘッダー :	Location: https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Lease6/1001::515c:2c0b:233e:9867
<b>Reservation の作成と Lease の取得</b>	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Reservation? "action=getNextAddress&ClientId=1,6,02:02:02:02:02:03&address=1.0.0.0"
ヘッダー :	Content-Type:application/json
要求本文 :	{ "ipaddr": "1.0.0.110", "lookupKey": "01:03:02:02:02:02:03", "lookupKeyType": "9", "scope": "ISP-1.0.0.0-24", "tenantId": "0", "vpnId": "0" }
応答ヘッダー :	Location: https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Reservation/1.0.0.132
<b>Reservation6 の作成と Lease6 の取得</b>	
方式 :	POST
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Reservation6? "action=getNextAddress&clientId=01:01:01:03:01:01:01:01:02&address=1001::1002"
ヘッダー :	Content-Type:application/json

## 高度な API

要求本文：	{ "ip6Address": "1001::1002", "lookupKey": "01:01:01:03:01:01:01:01:01:02", "lookupKeyType": "7", "prefix": "p1", "tenantId": "0", "vpnId": "0" }
応答ヘッダー：	Location: https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Reservation6/1001::3c32:5923:e494:ea71

## Lease の変更

<b>Lease オブジェクトを名前で変更</b>	
方式：	PUT
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Lease/1.0.0.131?action=deactivate
ヘッダー：	Accept:application/json
<b>Lease オブジェクトを名前でリリース</b>	
方式：	PUT
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Lease/1.0.0.131?action=forceAvailable
ヘッダー：	Accept:application/json

## releaseAddress

**DELETE /web-services/rest/resource/addressClassName/address?action=releaseAddress**

releaseAddress アクションは、Reservation、Lease、Reservation6、および Lease6 クラスでサポートされています。このアクションは、DHCP サーバーで指定されたアドレスを強制的に使用可能にします。指定されたアドレスが見つからない場合は、「見つかりません」エラーが返されます。

予約が存在する場合、そのサーバーの CCM データベースから削除されます。フェールオーバーが構成されている場合、パートナーサーバーが実行されていて到達可能であれば、予約もパートナーから削除されます。パートナーの更新が失敗した場合、クライアントは更新を再試行するか、フェールオーバー同期を実行して、両方のサーバーで予約が削除されていることを確認する必要があります。

例：

<b>Lease のリリース</b>	
方式：	PUT
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Lease/1.0.0.128?action=releaseAddress
ヘッダー：	Accept:application/json

Lease6 のリリース	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Lease6/1001::515c:2c0b:233e:9867
ヘッダー :	Accept:application/json
Reservation の削除と Lease のリリース	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Reservation/1.0.0.132?action=releaseAddress
ヘッダー :	Accept:application/json
Reservation6 の削除と Lease6 のリリース	
方式 :	DELETE
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/resource/Reservation6/ 1001::3c32:5923:e494:ea71?action=releaseAddress
ヘッダー :	Accept:application/json

## サーバーの統計情報

**GET /web-services/rest/stats/serverClassName**

**Content-Type: application/xml、 application/json**

**GET /web-services/rest/stats/serverClassName?nrClass=extStatsClassName**

**Content-Type: application/xml、 application/json**

Stats は、DHCP Server、DNS Server、および DNS Caching Server クラスでサポートされていて、特定のクラスが「nrClass」パラメータで指定されている場合は、各サーバーの基本統計または拡張された合計統計オブジェクトを返します。要求されたクラスが指定されたサーバークラスに対して有効でない場合、「不正な要求」エラーが返されます。

例 :

## DHCPServer

要求できるオプションのクラスは次のとおりです。CCMServerInfo、DHCP6Stats、DHCPFailoverStats、DHCPServerActivityStats、DHCPTopUtilizedStats、ServerSystemsStats

DHCP サーバーの統計の取得	
方式 :	GET
エンドポイント:	<a href="https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DHCPServer">https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DHCPServer</a>
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>{   "sampleDeltaTime": "60s",   "sampleEndTime": "Mon Mar 22 18:31:16 2021",   "serverReloadTime": "Mon Mar 22 18:09:17 2021",   "serverStartTime": "Mon Mar 22 18:09:17 2021",   "serverUpTime": "22m7s",   "startTime": "Mon Mar 22 18:09:17 2021",   "startTimeStr": "Mon Mar 22 18:09:17 2021",   "statisticsRequestTime": "Mon Mar 22 18:31:24 2021",   "statisticsResetTime": "Mon Mar 22 18:09:17 2021",   "totalAcks": "5",   "totalDeclines": "0",   "totalDiscovers": "5",   "totalNaks": "0",   "totalOffers": "5",   "totalReleases": "0",   "totalRequests": "5" }</pre>
DHCPFailoverStats の取得	
方式 :	GET
エンドポイント:	<a href="https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DHCPServer?nrClass=DHCPFailoverStats">https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DHCPServer?nrClass=DHCPFailoverStats</a>
ヘッダー :	Accept:application/json

応答本文 :	<pre> {   "bindingAcksReceived": "260",   "bindingAcksSent": "0",   "bindingNaksReceived": "0",   "bindingNaksSent": "0",   "bindingUpdatesReceived": "0",   "bindingUpdatesSent": "260",   "connectAcksReceived": "1",   "connectAcksSent": "0",   "connectionsTerminatedByPartner": "0",   "connectionsTerminatedByServer": "0",   "connectsReceived": "0",   "connectsSent": "1",   "contactsReceived": "98",   "contactsSent": "97",   "decayingMaxRequestBuffersInUse": "1",   "discardedMessages": "0",   "disconnectsReceived": "0",   "disconnectsSent": "0",   "failedConnections": "0",   "invalidConnections": "0",   "invalidMessagesReceived": "0",   "packetsReceived": "375",   "packetsSent": "374",   "poolRequestsReceived": "3",   "poolResponsesSent": "3",   "requestBuffersAllocated": "239",   "requestBuffersInUse": "0",   "stateReceived": "3",   "stateSent": "3",   "successfulConnections": "1",   "unavailableRequests": "0",   "updateDoneReceived": "1",   "updateDoneSent": "2",   "updateRequestsReceived": "1",   "updateRequestsSent": "0",   "v6BindingAcksReceived": "5",   "v6BindingAcksSent": "0",   "v6BindingNaksReceived": "0",   "v6BindingNaksSent": "0",   "v6BindingUpdatesReceived": "0",   "v6BindingUpdatesSent": "5",   "v6PoolRequestsReceived": "1",   "v6PoolRequestsSent": "0",   "v6PoolResponsesReceived": "0",   "v6PoolResponsesSent": "1",   "v6UpdateDoneReceived": "1",   "v6UpdateDoneSent": "2",   "v6UpdateRequestsReceived": "1",   "v6UpdateRequestsSent": "0" } </pre>
--------	---

## DHCPRelatedServer

DHCP 関連のサーバークラスは次のとおりです: DNSRelatedServer、FailoverRelatedServer、LDAPRelatedServer、RelayAgentState、TCPConnectionRelatedServer、TCPListenerRelatedServer、DHCPRenewalData

例 :

DNS 関連のサーバーステータスの取得	
方式 :	GET
エンドポイント :	https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DHCPRelatedServer?nrClass=DNSRelatedServer
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>[   {     "acknowledgedRequests": "0",     "commState": "none",     "currentTime": "Mon Mar 22 19:36:13 2021",     "deactivatedCount": "0",     "dnsServerFlags": "used-in-ha-pair,init-reply-time",     "dnsServerState": "PROBE",     "dnsTimeout": "6",     "haDnsFailoverTimeout": "30",     "haDnsProbeRetry": "1",     "haDnsProbeTimeout": "2",     "haDnsRole": "HA-MAIN",     "inFlightRequests": "0",     "ipaddr": "10.104.245.211",     "lastHaDnsRoleSwitchTime": "Mon Mar 22 19:33:56 2021",     "lastProbeSentTime": "Mon Mar 22 19:33:56 2021",     "lastReplyReceivedTime": "Mon Mar 22 19:33:56 2021",     "maxDnsRetries": "3",     "maxRequests": "20",     "requests": "0",     "serverDeactivatedCount": "0",     "timedOutRequests": "0"   },   {     "acknowledgedRequests": "0",     "commState": "none",     "currentTime": "Mon Mar 22 19:36:13 2021",     "deactivatedCount": "0",     "dnsServerFlags": "used-in-ha-pair,init-reply-time",     "dnsServerState": "PROBE",     "dnsTimeout": "6",     "haDnsFailoverTimeout": "30",     "haDnsProbeRetry": "1",     "haDnsProbeTimeout": "2",     "haDnsRole": "HA-BACKUP",     "inFlightRequests": "0",     "ipaddr": "10.104.245.212",     "lastHaDnsRoleSwitchTime": "Mon Mar 22 19:33:56 2021",     "lastProbeSentTime": "Mon Mar 22 19:33:56 2021",     "lastReplyReceivedTime": "Mon Mar 22 19:33:56 2021",     "maxDnsRetries": "3",     "maxRequests": "20",     "requests": "0",     "serverDeactivatedCount": "0",     "timedOutRequests": "0"   } ]</pre>

## DNSServer

要求できるオプションのクラスは次のとおりです。CCMServerInfo、DNSServerDBStats、DNSServerErrorsStats、DNSServerHaStats、DNSServerIPv6Stats、DNSServerMaxCounterStats、DNSServerPerformanceStats、DNSServerPushNotificationsStats、DNSServerQueryStats、DNSServerSecurityStats、DNSTopNameStats、ServerSystemsStats

DNS サーバーの統計の取得	
方式 :	GET
エンドポイント :	https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DNSServer
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>{   "configRecurs": "3",   "configReset": "4",   "configResetTime": "16h43m8s",   "configUpTime": "23h33m7s",   "counterResetTime": "Mon Mar 22 12:40:18 2021",   "id": "Cisco Systems, Inc. DNS Server, Release 11.0 Linux 64-bit build #11.0.2103211314, Mar 21 2021 13:16:11",   "sampleInterval": "60s",   "sampleTime": "Tue Mar 23 12:13:18 2021",   "statisticsRequestTime": "Tue Mar 23 12:13:25 2021",   "totalRrs": "10",   "totalZones": "3" }</pre>
DNSServerHaStats の取得	
方式 :	GET
エンドポイント :	https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DNSServer?nrClass=DNSServerHaStats
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>{   "haFullZoneResync": "2",   "haMsgConnectRecv": "14",   "haMsgConnectSent": "14",   "haMsgHeartbeatRecv": "3306",   "haMsgHeartbeatSent": "3307",   "haMsgReconcileRecv": "0",   "haMsgReconcileSent": "36",   "haMsgReqRecv": "3335",   "haMsgReqRecvTime": "Tue Mar 23 13:02:31 2021",   "haMsgReqSent": "3409",   "haMsgReqSentTime": "Tue Mar 23 13:02:31 2021",   "haMsgRespRecv": "3406",   "haMsgRespSent": "3333",   "haMsgRrsyncRecv": "0",   "haMsgRrsyncSent": "24",   "haMsgRrupdateRecv": "0",   "haMsgRrupdateSent": "0",   "haMsgShutdownRecv": "2",   "haMsgShutdownSent": "3",   "haMsgZonesyncRecv": "0",   "haMsgZonesyncSent": "12", }</pre>



## 高度な API

	<pre> "haRespInconsistent": "0", "haRespServfail": "0", "haRespUnknown": "0", "haStateCommInterrupted": "13", "haStateCurrent": "HA_NORMAL", "haStateLastChangeTime": "Tue Mar 23 05:29:31 2021", "haStateNegotiating": "14", "haStateNormal": "13", "haStatePartnerDown": "0", "haStateStartup": "6", "haSyncConflict": "0", "haSyncDiscardName": "0", "haSyncMergeName": "0", "haUpdateReject": "0", "haZoneMismatch": "0" } </pre>
--	---

## CCMServer

<b>CCM サーバーの統計の取得</b>	
方式:	GET
エンドポイント:	https://loalhost:8443/web-services/rest/stats/CCMServer
ヘッダー:	Accept:application/json
応答本文:	<pre> {   "dataFreeSpace": "16376",   "dataPath": "/var/nwreg2/local/data/",   "dataTotalSpace": "38389",   "lastBackupBytes": "80.5 MB",   "lastBackupElapsedTime": "6s",   "lastGoodBackup": "Mon Mar 22 23:45:06 2021",   "logsFreeSpace": "16376",   "logsPath": "/var/nwreg2/local/logs/",   "logsTotalSpace": "38389",   "serverStats": {     "ServerSystemStatsItem": [       {         "cpuUtilization": "4s",         "memoryUtilization": "9376",         "pid": "7318",         "serverType": "1443",         "vmUtilization": "304184"       },       {         "cpuUtilization": "41s",         "memoryUtilization": "59576",         "pid": "7497",         "serverType": "1451",         "vmUtilization": "504464"       },       {         "cpuUtilization": "3m4s",         "memoryUtilization": "67484",         "pid": "8258",         "serverType": "1200",         "vmUtilization": "517460"       }     ]   } } </pre>

	<pre> {     "cpuUtilization": "8m29s",     "memoryUtilization": "40128",     "pid": "8259",     "serverType": "1100",     "vmUtilization": "603120"   },   {     "cpuUtilization": "9m34s",     "memoryUtilization": "125203",     "pid": "7502",     "serverType": "1460",     "statisticsRequestTime": "Tue Mar 23 13:20:24 2021",     "vmUtilization": "154112"   },   {     "cpuUtilization": "0",     "memoryUtilization": "10936",     "pid": "7499",     "serverType": "1600",     "vmUtilization": "260968"   } ] }, "statisticsRequestTime": "Tue Mar 23 13:25:00 2021" } </pre>
--	---

## DNSCachingServer

要求できるオプションのクラスは次のとおりです。CCMServerInfo、DNSTopNameStats、ServerSystemsStats

DNS キャッシュサーバーの統計の取得	
方式:	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DNSCachingServer
ヘッダー:	Accept:application/json
応答本文:	<pre> {   "answersRrsetUnsecure": "0",   "answersSecure": "0",   "answersUnsecure": "0",   "answersUnwanted": "0",   "answersWithFormerr": "0",   "answersWithNodata": "0",   "answersWithNoerror": "0",   "answersWithNotauth": "0",   "answersWithNotimp": "0",   "answersWithNxdomain": "0",   "answersWithRefused": "0",   "answersWithServfail": "0",   "answersWithOtherErrors": "0",   "cacheHits": "0",   "cacheMisses": "0",   "cachePrefetches": "0",   "clientRateLimit": "0",   "configRecurs": "1",   "dns64A2AaaaConversions": "0", </pre>

```

"dns64PtrConversions": "0",
"domainRateLimit": "0",
"exceededMaxTargetCount": "0",
"firewallDropped": "0",
"firewallRedirectNxdomain": "0",
"firewallRedirected": "0",
"firewallRefused": "0",
"firewallRpz": "0",
"keyCacheExceeded": "0",
"memCache": "33064",
"memCacheExceeded": "0",
"memIterator": "16596",
"memProcess": "0",
"memQueryCache": "33064",
"memQueryCacheExceeded": "0",
"memValidator": "0",
"name": "Cisco Systems, Inc. DNS Caching Server, Release 10.1.1 Linux 64-bit
build #10.1.1.2012081345, Dec 8 2020 13:47:47",
"queriesFailingAcl": "0",
"queriesOverIpv6": "0",
"queriesOverTcp": "0",
"queriesTotal": "0",
"queriesTypeA": "0",
"queriesTypeAaaa": "0",
"queriesTypeAny": "0",
"queriesTypeCname": "0",
"queriesTypeDnskey": "0",
"queriesTypeDs": "0",
"queriesTypeMx": "0",
"queriesTypeNs": "0",
"queriesTypeNsec": "0",
"queriesTypeNsec3": "0",
"queriesTypePtr": "0",
"queriesTypeRrsig": "0",
"queriesTypeSoa": "0",
"queriesTypeOther": "0",
"queriesUnwantedClass": "0",
"queriesWithEdns": "0",
"queriesWithEdnsDo": "0",
"queriesWithFlagAa": "0",
"queriesWithFlagAd": "0",
"queriesWithFlagCd": "0",
"queriesWithFlagQr": "0",
"queriesWithFlagRa": "0",
"queriesWithFlagRd": "0",
"queriesWithFlagTc": "0",
"queriesWithFlagZ": "0",
"recursiveRepliesTotal": "0",
"recursiveTimeAverage": "0",
"recursiveTimeMedian": "0",
"remoteNsCacheExceeded": "0",
"requestlistTotal": "0",
"requestlistTotalAverage": "0",
"requestlistTotalExceeded": "0",
"requestlistTotalMax": "0",
"requestlistTotalOverwritten": "0",
"requestlistTotalSystem": "0",
"requestlistTotalUser": "0",
"resetTime": "Fri Mar 26 15:50:19 2021",
"restartTime": "Fri Mar 26 15:50:19 2021",
"sampleInterval": "60s",
"sampleTime": "Fri Mar 26 17:03:28 2021",
"smartCache": "0",
"timeCurrent": "Fri Mar 26 17:03:31 2021",
"timeElapsed": "3s",
"timeUp": "1h13m12s"
}

```

## サンプル統計

Cisco Prime Network Registrar では、総統計に加えて、REST インターフェイスがすべてのサーバーのサンプル統計（DHCP (v4 および v6)、DNS、およびキャッシュ DNS）を提供します。

例：

### DHCPServer

DHCPFailoverStats の取得	
方式：	GET
エンドポイント：	<a href="https://localhost:8443/web-services/rest/stats/sample/DHCPServer?nrClass=DHCPFailoverStats">https://localhost:8443/web-services/rest/stats/sample/DHCPServer?nrClass=DHCPFailoverStats</a>
ヘッダー：	Accept:application/json
応答本文：	<pre>{   "bindingAcksReceived": "0",   "bindingAcksSent": "0",   "bindingNaksReceived": "0",   "bindingNaksSent": "0",   "bindingUpdatesReceived": "0",   "bindingUpdatesSent": "0",   "connectAcksReceived": "0",   "connectAcksSent": "0",   "connectionsTerminatedByPartner": "0",   "connectionsTerminatedByServer": "0",   "connectsReceived": "0",   "connectsSent": "0",   "contactsReceived": "4",   "contactsSent": "4",   "decayingMaxRequestBuffersInUse": "3",   "discardedMessages": "0",   "disconnectsReceived": "0",   "disconnectsSent": "0",   "failedConnections": "0",   "invalidConnections": "0",   "invalidMessagesReceived": "0",   "packetsReceived": "4",   "packetsSent": "4",   "poolRequestsReceived": "0",   "poolResponsesSent": "0",   "requestBuffersAllocated": "239",   "requestBuffersInUse": "0",   "stateReceived": "0",   "stateSent": "0",   "successfulConnections": "0",   "unavailableRequests": "0",   "updateDoneReceived": "0",   "updateDoneSent": "0",   "updateRequestsReceived": "0",   "updateRequestsSent": "0",   "v6BindingAcksReceived": "0",   "v6BindingAcksSent": "0",   "v6BindingNaksReceived": "0",   "v6BindingNaksSent": "0",   "v6BindingUpdatesReceived": "0",   "v6BindingUpdatesSent": "0",   "v6PoolRequestsReceived": "0",</pre>

## 高度な API

	<pre> "v6PoolRequestsSent": "0", "v6PoolResponsesReceived": "0", "v6PoolResponsesSent": "0", "v6UpdateDoneReceived": "0", "v6UpdateDoneSent": "0", "v6UpdateRequestsReceived": "0", "v6UpdateRequestsSent": "0" } </pre>
応答ヘッダー :	<pre> &lt; X-Sample-Time: Tue Mar 23 13:40:14 2021 &lt; X-Sample-Interval: 60s </pre>

## DNSServer

<b>DnsServerHAStats の取得</b>	
方式 :	GET
エンドポイント:	<a href="https://localhost:8443/web-services/rest/stats/sample/DNSServer?nrClass=DnsServerHAStats">https://localhost:8443/web-services/rest/stats/sample/DNSServer?nrClass=DnsServerHAStats</a>
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre> {   "haFullZoneResync": "0",   "haMsgConnectRecv": "0",   "haMsgConnectSent": "0",   "haMsgHeartbeatRecv": "0",   "haMsgHeartbeatSent": "0",   "haMsgReconcileRecv": "0",   "haMsgReconcileSent": "0",   "haMsgReqRecv": "0",   "haMsgReqRecvTime": "Tue Mar 23 13:45:56 2021",   "haMsgReqSent": "0",   "haMsgReqSentTime": "Tue Mar 23 13:45:56 2021",   "haMsgRespRecv": "0",   "haMsgRespSent": "0",   "haMsgRrsyncRecv": "0",   "haMsgRrsyncSent": "0",   "haMsgRrupdateRecv": "0",   "haMsgRrupdateSent": "0",   "haMsgShutdownRecv": "0",   "haMsgShutdownSent": "0",   "haMsgZonesyncRecv": "0",   "haMsgZonesyncSent": "0",   "haRespInconsistent": "0",   "haRespServfail": "0",   "haRespUnknown": "0",   "haStateCommInterrupted": "0",   "haStateCurrent": "HA_NORMAL",   "haStateLastChangeTime": "Tue Mar 23 13:31:17 2021",   "haStateNegotiating": "0",   "haStateNormal": "0",   "haStatePartnerDown": "0",   "haStateStartup": "0",   "haSyncConflict": "0",   "haSyncDiscardName": "0",   "haSyncMergeName": "0",   "haUpdateReject": "0",   "haZoneMismatch": "0" } </pre>
応答ヘッダー :	<pre> &lt; X-Sample-Time: Tue Mar 23 13:49:15 2021 &lt; X-Sample-Interval: 60s </pre>

## DNSCachingServer

DNSTopNameStats の取得	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/stats/sample/DNSCachingServer?nrClass=DnsTopNameStats
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>{   "lastAccessTime": "Tue Mar 23 13:53:11 2021",   "lastResetTime": "Tue Mar 23 13:52:11 2021",   "timestamp": "Tue Mar 23 13:53:34 2021",   "topNames": {     "list": []   },   "totalCounted": "0" }</pre>
応答ヘッダー :	<pre>&lt; X-Sample-Time: Tue Mar 23 13:53:17 2021 &lt; X-Sample-Interval: 60s</pre>

## サーバーシステム統計

REST API を使用して、個々のサーバーのサーバーシステム統計を取得できます。これは、サーバーを効果的に監視するのに役立ちます。SystemStats および ServerSystemStats クラスの REST サポートが追加されました。ServerSystemStats は、1 つの Cisco Prime Network Registrar サーバーによって使用されるシステムリソースに関する情報を提供します。SystemStats は、Network Registrar を実行しているホストに関するシステム全体の統計を提供します。これには通常、メモリ、CPU、ディスク領域の使用率などが含まれます。

例 :

ServerSystemStats の取得	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DNSCachingServer?nrClass=ServerSystemStats
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>{   "cpuUtilization": "0",   "memoryUtilization": "64544",   "pid": "5980",   "serverType": "1227",   "vmUtilization": "368824" }</pre>

## 使用率データ

REST API を使用して、スコープとプレフィックスの使用率データを取得できます。v4 および v6 の使用率をレポートするために、新しいカテゴリの統計のサポートが追加されました。CurrentUtilization および CurrentPrefixUtilization クラスに REST サポートが追加されました。CurrentUtilization は、単一の DHCP スコープ、またはサブネット全体またはアドレスブロックからの詳細なアドレス使用状況情報を提供します。CurrentPrefixUtilization は、単一の DHCP プレフィックス、または親プレフィックスまたはリンクに含まれるすべての DHCP プレフィックスからの詳細なアドレス使用状況情報を報告します。

### CurrentUtilization

DHCP スコープ使用率の取得	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8453/web-services/rest/stats/CurrentUtilization
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre>[   {     "activeDynamic": "1",     "aggregationLevel": "subnet-level",     "avail": "127",     "deactivated": "0",     "expired": "0",     "freeDynamic": "254",     "leased": "1",     "leasedDeactivated": "0",     "offered": "0",     "otherAvail": "127",     "pendAvail": "0",     "reservedActive": "0",     "reservedInactive": "0",     "reservedLeasedDeactivated": "0",     "reservedUnavail": "0",     "subnet": "1.0.0.0/24",     "totalDynamic": "255",     "totalReserved": "0",     "unavail": "0",     "vpnId": "0"   },   {     "activeDynamic": "1",     "aggregationLevel": "scope-level",     "avail": "127",     "clusterId": "2",     "deactivated": "0",     "expired": "0",     "failoverRole": "main",     "failoverState": "normal",     "freeDynamic": "254",     "leased": "1",     "leasedDeactivated": "0",     "offered": "0",     "otherAvail": "127",     "pendAvail": "0",     "primarySubnet": "1.0.0.0/24",     "reservedActive": "0",     "reservedInactive": "0",     "reservedLeasedDeactivated": "0",     "reservedUnavail": "0",     "scopeName": "ISP-1.0.0.0-24",     "subnet": "1.0.0.0/24",   } ]</pre>

	<pre> "timestamp": "Mon Mar 22 13:47:06 2021", "totalDynamic": "255", "totalReserved": "0", "unavail": "0", "vpnId": "0" } ] </pre>
<b>特定のスキープの DHCP スキープ使用率の取得</b>	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/stats/CurrentUtilization/ISP-1.0.0.0-24
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre> {   "activeDynamic": "1",   "aggregationLevel": "scope-level",   "avail": "127",   "deactivated": "0",   "expired": "0",   "failoverRole": "main",   "failoverState": "normal",   "freeDynamic": "254",   "leased": "1",   "leasedDeactivated": "0",   "offered": "0",   "otherAvail": "127",   "pendAvail": "0",   "primarySubnet": "1.0.0.0/24",   "reservedActive": "0",   "reservedInactive": "0",   "reservedLeasedDeactivated": "0",   "reservedUnavail": "0",   "scopeName": "ISP-1.0.0.0-24",   "subnet": "1.0.0.0/24",   "totalDynamic": "255",   "totalReserved": "0",   "unavail": "0",   "vpnId": "0" } </pre>

## CurrentPrefixUtilization

<b>DHCP プレフィックス使用率の取得</b>	
方式 :	GET
エンドポイント:	https://localhost:8443/web-services/rest/stats/CurrentPrefixUtilization
ヘッダー :	Accept:application/json



応答本文 :	<pre>[   {     "activeDynamic": "2",     "aggregationLevel": "prefix-level",     "deactivated": "0",     "dhcpType": "dhcp",     "expired": "0",     "leased": "2",     "leasedDeactivated": "0",     "linkName": "Link-1001::/64",     "offered": "0",     "pendingDelete": "0",     "prefix": "1001::/64",     "prefixDeactivated": "false",     "prefixName": "p1",     "prefixRange": "1001::/64",     "reservedActive": "0",     "reservedInactive": "0",      "revoked": "0",     "totalReserved": "0",     "unavail": "0",     "vpnId": "0"   },   {     "activeDynamic": "5",     "aggregationLevel": "prefix-level",     "deactivated": "0",     "dhcpType": "dhcp",     "expired": "0",     "leased": "5",     "leasedDeactivated": "0",     "linkName": "Link-3001::/64",     "offered": "0",     "pendingDelete": "0",     "prefix": "3001::/64",     "prefixDeactivated": "false",     "prefixName": "p3",     "prefixRange": "3001::/64",     "reservedActive": "0",     "reservedInactive": "0",     "reservedLeasedDeactivated": "0",     "reservedUnavail": "0",     "revoked": "0",     "tenantId": "1",     "totalReserved": "0",     "unavail": "0",     "vpnId": "0"   } ]</pre>
<b>特定のプレフィックスの DHCP プレフィックス使用率の取得</b>	
方式 :	GET
エンドポイント:	<a href="https://localhost:8443/web-services/rest/stats/CurrentPrefixUtilization/p3">https://localhost:8443/web-services/rest/stats/CurrentPrefixUtilization/p3</a>
ヘッダー :	Accept:application/json

応答本文：	<pre>{   "activeDynamic": "5",   "aggregationLevel": "prefix-level",   "deactivated": "0",   "dhcpType": "dhcp",   "expired": "0",   "leased": "5",   "leasedDeactivated": "0",   "linkName": "Link-3001::/64",   "offered": "0",   "pendingDelete": "0",   "prefix": "3001::/64",   "prefixDeactivated": "false",   "prefixName": "p3",   "prefixRange": "3001::/64",   "reservedActive": "0",   "reservedInactive": "0",   "reservedLeasedDeactivated": "0",   "reservedUnavail": "0",   "revoked": "0",   "tenantId": "1",   "totalReserved": "0",   "unavail": "0",   "vpnId": "0"} }</pre>
-------	---

## DHCP スコープステータス

REST API を使用して、スコープが DHCP サーバーで最新かどうかを判断できます。DHCPScopeStatus クラスに REST サポートが追加されました。スコープのステータスを報告します。

DHCP スコープステータスの取得	
方式：	GET
エンドポイント：	<a href="https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DHCPScopeStatus?nrStatusFull=true">https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DHCPScopeStatus?nrStatusFull=true</a>
ヘッダー：	Accept:application/json
応答本文：	<pre>[   {     "name": "ISP-1.0.0.0-24",     "scopeStatus": "published"   },   {     "name": "ISP-2.0.0.0-24",     "scopeStatus": "published"   },   {     "name": "unpublished",     "scopeStatus": "published"   } ]</pre>
特定のスコープの DHCP スコープステータスの取得	
方式：	GET
エンドポイント：	<a href="https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DHCPScopeStatus/ISP-1.0.0.0-24">https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DHCPScopeStatus/ISP-1.0.0.0-24</a>
ヘッダー：	Accept:application/json

応答本文：	<pre>{   "name": "ISP-1.0.0.0-24",   "scopeStatus": "published" }</pre>
<b>段階的な編集による DHCP スコープステータスの取得</b>	
方式：	GET
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DHCPScopeStatus
ヘッダー：	Accept:application/json
応答本文：	<pre>[   {     "name": "ISP-1.0.0.0-24",     "scopeStatus": "unpublished"   },   {     "name": "ISP-2.0.0.0-24",     "scopeStatus": "unpublished"   },   {     "name": "unpublished",     "scopeStatus": "unpublished"   } ]</pre>

## DNSHaStatus

<b>DNS HA ステータスの取得</b>	
方式：	GET
エンドポイント：	https://localhost:8453/web-services/rest/stats/DnsHASStatus
ヘッダー：	Accept:application/json
応答本文：	<pre>[   {     "role": "MAIN",     "state": "HA_NORMAL",     "clusterName": "cnr-cent72-3",     "haZoneCount": "2",     "zoneSyncCompleteCount": "2",     "zoneSyncCompleteList": {       "CCMZoneItem": [         {"origin": "zone2.com"},         {"origin": "zone1.com"}       ]     },     "zoneSyncFailedCount": "0",     "zoneSyncFailedList": {       "list": []     },     "zoneSyncPendingCount": "0",     "zoneSyncPendingList": {       "list": []     }   },   {     "role": "MAIN",     "state": "HA_NORMAL",     "clusterName": "cnr-rhel81-2",     "haZoneCount": "2",     "zoneSyncCompleteCount": "2",</pre>

	<pre> "zoneSyncCompleteList": {   "CCMZoneItem": [     {"origin": "zone10.com"},     {"origin": "zone20.com"}   ] }, "zoneSyncFailedCount": "0", "zoneSyncFailedList": {   "list": [] }, "zoneSyncPendingCount": "0", "zoneSyncPendingList": {   "list": [] } } ] </pre>
<b>特定の DNS HA ペアの DNS HA ステータスの取得</b>	
方式 :	GET
エンドポイント:	<a href="https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DnsHAStatus/pair1">https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DnsHAStatus/pair1</a>
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	<pre> {   "role": "MAIN",   "state": "HA_NORMAL",   "haZoneCount": "2",   "zoneSyncCompleteCount": "2",   "zoneSyncCompleteList": {     "CCMZoneItem": [       {         "origin": "zone2.com"       },       {         "origin": "zone1.com"       }     ]   },   "zoneSyncFailedCount": "0",   "zoneSyncFailedList": {     "list": []   },   "zoneSyncPendingCount": "0",   "zoneSyncPendingList": {     "list": []   } } </pre>

## DnsZoneStatus

<b>未公開 DNS ゾーンステータスの取得</b>	
未公開の変更があるすべてのプライマリゾーンの Network Registrar DnsZoneStatus オブジェクトのリストを取得します。クエリパラメータ <code>nrStatusFull</code> を使用して、すべてのプライマリゾーンのステータスを要求します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	<code>https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DnsZoneStatus</code>
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	[ <pre>         {           "haStatus": "none",           "origin": "unpublished.com.",           "viewQualifiedName": "unpublished.com.",           "zoneStatus": "unpublished"         }       </pre> ]
<b>ビュー内で未公開の DNS ゾーンのステータスの取得</b>	
指定されたフォワードゾーンまたはリバースゾーンの Network Registrar DnsZoneStatus オブジェクトを取得します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	<code>https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DnsZoneStatus?nrStatusFull=False&amp;viewId=1</code>
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	[ <pre>         {           "haStatus": "none",           "origin": "view2.com.",           "viewQualifiedName": "view1/view2.com.",           "zoneStatus": "unpublished"         }       </pre> ]
<b>DNS ゾーンのステータスをすべて取得</b>	
未公開の変更があるすべてのプライマリゾーンの Network Registrar DnsZoneStatus オブジェクトのリストを取得します。クエリパラメータ <code>nrStatusFull</code> を使用して、すべてのプライマリゾーンのステータスを要求します。	
方式 :	GET
エンドポイント:	<code>https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DnsZoneStatus?nrStatusFull=True</code>
ヘッダー :	Accept:application/json
応答本文 :	[ <pre>         {           "haStatus": "none",           "origin": "unpublished.com.",           "viewQualifiedName": "unpublished.com.",           "zoneStatus": "unpublished"         },         { </pre> ]

	<pre> "haStatus": "sync-complete", "origin": "zone1.com.", "viewQualifiedName": "zone1.com.", "zoneStatus": "published" }, { "haStatus": "sync-complete", "origin": "zone2.com.", "viewQualifiedName": "zone2.com.", "zoneStatus": "published" }, { "haStatus": "none", "origin": "127.in-addr.arpa.", "viewQualifiedName": "127.in-addr.arpa.", "zoneStatus": "published" } ] </pre>
--	---

## DHCP フェールオーバーステータス

REST API を使用して、DHCP サーバーのフェールオーバーステータスを確認できます。FailoverRelatedServer クラスに REST サポートが追加されました。これは、フェールオーバーパートナーに固有の DHCP サーバーの関連サーバーの情報を報告します。

FailoverRelatedServer の取得	
方式 :	GET
エンドポイント :	<a href="https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DHCPRelatedServer?nrClass=FailoverRelatedServer">https://localhost:8443/web-services/rest/stats/DHCPRelatedServer?nrClass=FailoverRelatedServer</a>
ヘッダー :	Accept:application/json
要求本文 :	<pre> [   {     "bindingAcksReceivedTotal": "270",     "bindingUpdatesSentTotal": "270",     "commState": "ok",     "connectionEndTime": "Mon Mar 22 19:34:00 2021",     "connectionStartTime": "Mon Mar 22 19:34:06 2021",     "currentTime": "Mon Mar 22 20:03:08 2021",     "decayingMaxRequestBuffersInUse": "1",     "failoverPairName": "pair1",     "ipaddr": "10.104.245.212",     "lastCommOkTime": "Mon Mar 22 20:02:11 2021",     "loadBalancingBackupPct": "0%",     "loadBalancingDroppedRequests": "0",     "loadBalancingDroppedTotal": "0",     "loadBalancingProcessedRequests": "0",     "loadBalancingProcessedTotal": "0",     "maximumClientLeadTime": "3600",     "otherServerDownTime": "Mon Mar 22 19:34:00 2021",     "ourIpaddr": "10.104.245.211",     "partnerRole": "backup",     "partnerState": "normal",     "partnerVendorMajorVersion": "2",     "partnerVendorMinorVersion": "0",     "requestBuffersAllocated": "239",     "role": "main",     "sequenceNumber": "1.0", </pre>

	<pre> "smoothedTimeDelta": "0", "startOfCommInterrupted": "Mon Mar 22 19:34:00 2021", "startTimeOfPartnerState": "Mon Mar 22 19:34:06 2021", "startTimeOfState": "Mon Mar 22 19:34:06 2021", "state": "normal", "updateRequestDoneTime": "Mon Mar 22 19:33:56 2021", "updateResponseDoneTime": "Mon Mar 22 19:34:06 2021", "updateResponseStartTime": "Mon Mar 22 19:34:06 2021", "useOtherAvailable": "false", "v6BindingAcksReceivedTotal": "16", "v6BindingUpdatesSentTotal": "16", "v6UpdateRequestDoneTime": "Mon Mar 22 19:33:56 2021", "v6UpdateResponseDoneTime": "Mon Mar 22 19:34:06 2021", "v6UpdateResponseStartTime": "Mon Mar 22 19:34:06 2021" } ] </pre>
--	--

## リソース制限の通知

リソース制限機能の一部として、リソース制限を超えると、Web UI のアラーム、CLI の開始時と終了時の CLI のステータスコード「109」、および **resource report** コマンドによって示されます。同じ機能が REST API 経由でも利用できます。

例：

リソースのステータスの取得	
方式：	GET
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/stats/ResourceStatus
ヘッダー：	Accept:application/json
応答本文：	<pre> {     "critical": "1",     "ok": "12",     "warning": "1" } </pre>
リソースレポートの取得	
方式：	GET
エンドポイント：	https://localhost:8443/web-services/rest/stats/ResourceReport
ヘッダー：	Accept:application/json

応答本文 :

```
[
  {
    "critical": "1",
    "ok": "12",
    "warning": "1"
  },
  {
    "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:88",
    "ascendingOrdered": "true",
    "eventState": "critical",
    "eventTimestamp": "Tue Mar 23 15:08:22 2021",
    "intCriticalLevel": "400",
    "intDataType": "AT_INT64",
    "lastEventTime": "Tue Mar 23 15:08:22 2021",
    "lastIntValue": "515",
    "lastUpdatedTime": "Tue Mar 23 15:10:22 2021",
    "lastValueMessage": "515 above 400",
    "lastValueState": "Critical",
    "name": "lease-count",
    "peakIntValue": "515",
    "peakTime": "Tue Mar 23 13:31:22 2021",
    "peakValueMessage": "515 max above 400",
    "serverClass": "1100",
    "state": "Critical",
    "tenantId": "0"
  },
  {
    "objectId": "OID-00:00:00:00:00:00:00:8a",
    "ascendingOrdered": "true",
    "eventState": "warning",
    "eventTimestamp": "Tue Mar 23 15:08:22 2021",
    "intCriticalLevel": "25000000",
    "intDataType": "AT_INT64",
    "intWarningLevel": "10",
    "lastEventTime": "Tue Mar 23 15:08:22 2021",
    "lastIntValue": "16",
    "lastUpdatedTime": "Tue Mar 23 15:10:22 2021",
    "lastValueMessage": "16 above 10",
    "lastValueState": "Warning",

    "name": "rr-count",
    "peakIntValue": "16",
    "peakTime": "Tue Mar 23 13:31:22 2021",
    "peakValueMessage": "16 max above 10",
    "serverClass": "1200",
    "state": "Warning",
    "tenantId": "0"
  }
]
```



## Swagger のドキュメント

REST API の Swagger UI は、`https://ipaddress:port/web-services` を使用して起動できます

サーバーに IPv4 と IPv6 の両方のアドレスがある場合、Swagger はデフォルトでは IPv4 で動作します。IPv6 通信の場合、`https://ipv6address:port/web-services` (角括弧で囲まれた IPv6 アドレス) を使用して Swagger UI を起動し、サーバーのドロップダウンから v6 アドレスを選択する必要があります。

Swagger UI は、ファイル `cnr.data-home/tomcat/webapps/ws/web-services/openapi.json` からアドレスとポートを取得します。このファイルは、必要でない限り編集しないでください。このファイルに変更を加えた場合はサーバーエージェントの再起動が必要です。

`openapi.json` にアドレスとポートのデフォルト値、つまり実際の値ではなく `SWAGGER_IP`、`SWAGGER_IPV6`、および `SWAGGER_PORT` がある場合は、以下の手順を実行します。

- 値が `cnr.conf` ファイルで構成されていない場合、サーバーエージェントの再起動時に、Swagger UI はローカル環境から `openapi.json` 値を選択して構成します。
- `cnr.swagger-ip` が IPv4 アドレスに設定され、`cnr.swagger-ipv6` が IPv6 アドレスに設定されている `cnr.conf` ファイルで値が設定されている場合、これらの値が選択されます。

**注** : `openapi.json` が以前に有効な値を構成している場合、後で `cnr.conf` に設定された値に関係なく、`openapi.json` が優先されます。

## REST 要求で使用する特殊文字

場合によっては、正常な応答を得るために、入力要求で特殊文字を使用する必要があります。名前による操作を実行する場合は、名前にある特殊文字を次の HTML コードに置き換える必要があります。

文字	コード
スペース	%20
!	%21
"	%22
[#]	%23
\$	%24
[%]	%25
&	%26
'	%27
(	%28
)	%29

## ステータスコード

*	%2A
+	%2B
,	%2C
-	%2D
.	%2E

## ステータスコード

ステータスコード	説明
200 OK	要求は正常に完了しました。この応答は、通常、GET、PUT、および DELETE メソッドに対して表示されます。
201 Created	要求は正常に完了し、新しいリソースが作成されました。この応答は通常、POST および PUT メソッドに対して表示されます。
405 Method Not Allowed	要求のメソッドはリソースでサポートされていません。たとえば、DNSServer で POST メソッドを試行すると、このエラーが発生します。
500 Internal Server Error	サーバーはエラーを処理できません。
400 Bad Request	次の SCP メッセージ応答コードの場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>AX_SCP_INVALID_CLASSNAME</li> <li>AX_SCP_INVALID_ATTRNAME</li> <li>AX_SCP_INVALID_ATTRVAL</li> </ul>
401 Unauthorized	次の SCP メッセージ応答コードの場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>AX_EPERM</li> <li>AX_EACCES</li> <li>AX_SCP_PERMISSION_DENIED</li> <li>AX_SCP_AUTHENTICATION_FAILED</li> <li>AX_SCP_SERVER_AUTH_FAILED</li> <li>AX_DNS_PERMISSION_DENIED</li> <li>AX_SCP_INVALID_REQUEST</li> </ul>

## 製品に関する資料

404 Not Found	<p>次の SCP メッセージ応答コードの場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• AX_ENOENT</li> <li>• EX_REF_NOTFOUND</li> <li>• AX_DHCP_NO_CONFIGURED_RANGE</li> </ul>
---------------	--

## 製品に関する資料

Cisco Prime Network Registrar 11.1 ガイドのリストについては、『[Cisco Prime Network Registrar 11.1 Documentation Overview](#)』を参照してください。

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手、Cisco Bug Search Tool (BST) の使用、サービス リクエストの送信、追加情報の収集の詳細については、『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』を参照してください。

新しく作成された、または改訂されたシスコのテクニカル コンテンツをお手元で直接受信するには、『What's New in Cisco Product Documentation』RSS フィードをご購読ください。RSS フィードは無料のサービスです。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、URL : <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html> をご覧ください。記載されている第三者機関の商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1721R)

このマニュアルで使用している IP アドレスと電話番号は、実際のアドレスと電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド表示出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2022 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。

リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。